

育教の兒幼

號 一 第 號 月 一 卷 八 十 二 第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼本日

謹んで新年を祝賀いたします。

本邦に於ける幼稚園教育創始以來第五十二回の新年を迎へたることを祝し併て幼稚園教育の益々發展することを祈ります。

日本幼稚園協會役員一同



育教の兒幼輯編會協園稚幼本日

會長

東京女子高等師範學校校長

吉岡郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授

堀七藏

贊助員

東京高師教授

巖谷秀雄

東洋大學教授

高島平三郎

東京帝大醫科講師

醫博

乙竹岩造

東京府女子師範學校長

龍山義亮

東京高師教授

文博

太田孝之

東京女子高師囑託

土川五郎

慶應大學教授

醫博

大瀨甚太郎

帝國教育會理事

野口援太郎

東洋幼稚園長

文博

唐澤光德

松江高等學校長

乘杉嘉壽

早蕨幼稚園長

文博

岸邊福雄

京都帝大教授

野上俊夫

帝國教育會會長

文博

久留島武彦

東京女子高師教授

弘田長

東京高師教授

文博

澤柳政太郎

東京女子高師教授

倉橋惣三

東京女子高師教授

文博

佐々木秀一

東京帝大教授

松村武雄

東京女子高師教授

文博

下田次郎

東京女子高師校長

松本亦太郎

東京市教育局長

醫、文博

菅原教造

奈良女子高師校長

榎山榮次

東京女子高師講師

文博

富士川游

奈良女高師附屬幼稚園主事

三田谷啓

文部省

文博

藤井利譽

東京帝大教授

湯原元一

東京女子高師教授

文博

藤五代策

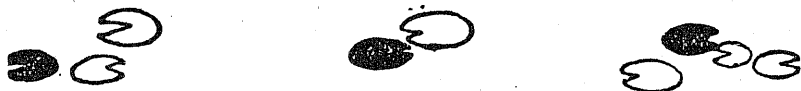
東京女子大學長

吉田熊次

谷本富

東京女子大學長

安井哲子





第二十八卷 幼 兒 教 育 第 一 號

口 繪 數へ遊び (兵隊、花)

東京女子師範の紹介

私が視察した歌米の幼稚園教育(八).....堀 七 藏.....二頁

我國幼稚園教育界の現状と問題(一).....倉 橋 惣 三.....一五頁

一月の幼児生活.....ト 部 た み.....二三頁

遊戲に忘れてならぬ三つの要件.....土 川 五 郎.....三一頁

はつかねずみの話.....哲 仙 人.....三五頁

ゴッタード木型板作業の時間的分析.....藤 本 久 洋.....四〇頁

私の幼稚園.....水 島 さ ゆ り.....四五頁

童謡遊戲について.....戸 倉 ハ ル.....四七頁

童話 五色の羽.....久 門 嘉 祐.....五二頁

遊戲 ご門.....土 川 五 郎.....五六頁

灰色の父.....菅 原 教 造.....五九頁

雜 錄.....六二頁

倉橋惣三氏著

幼稚園雜草

東京市日本橋區大傳馬町二丁目

内田老鶴圃

振替東京一二三四番
電話浪花一三三五番

- ◆四六判特製美本函入
◆定價金貳圓五拾錢
◆送料金拾八錢
◆紙數五百二十餘頁

教育の理論を説いた書は多い、方法を教へた書は更に多い。しかし教育の心を語つた書は少ない。とけわけて眞に幼児の生活に觸れた書は更に少ない。現代の日本が生んだ唯一の幼児教育の權威たる著者は、永くお茶の水の幼稚園の主事として令名噴々たる人、本書は著者が多年幼児の間に在つて體得した獨自の感想と考察とを述べて、幼兒の生活を中心とした人間教育の眞意を味到せしめんが爲めに、教育者と家庭の母とに贈つたものである。或は詩趣に充ちた感想文があり、教育の理想國を描いた創作があり、或は著者の溫容を彷彿せしむる講話があり紀行觀察録がある。豊かなる興味と深き感銘と清き教訓とは、そのまゝ著者の心より讀者の胸へ流れ渡つて盡きないものがあらう。

◇本醫内容目次◇

ん▽
を幼△
に初稚
に園
を園
に移△
園に生
園にす
に上
に送
る兒
方入
に達
に見
家△
庭△
子△
と幼

詩の森大のが月正戯ひ家さ園
時主炎の水にべ月々ののの
の義の災に水に野々布のの
の養の火のにの春寒袋の自
の稚幼歸○へ春寒袋のた然
の63園児育この春親一我致
應接整教このほろが點どの
問禁育このもつゝしど致
任森行春邊へも來むのの
7研の啓跡夏がる心驚の前
研究先迎が立や外新味も子
會がはまてす雨しらべど
8人のほのめの外れう間
新ガのちの後日へみうる
人2リつとお日へみうる
茶5テ▽茶秋△學の尊偉
茶5テ▽茶秋△學の尊偉

◆幼児に聴かせるお話

倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編

定價參圓八拾錢
送料拾八錢

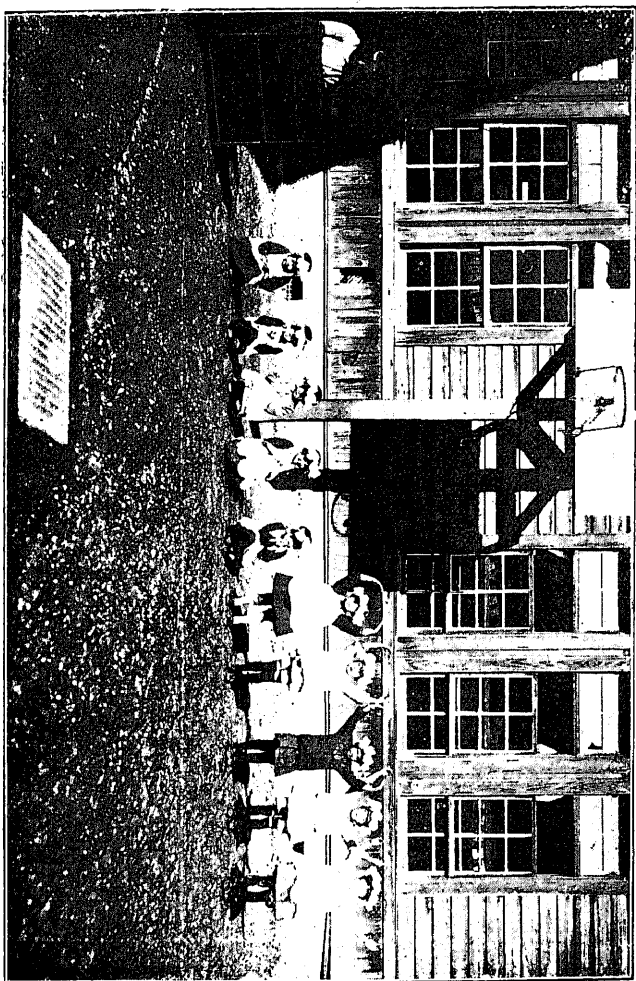
◆幼稚園保育要目

萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序

定價壹圓五拾錢
送料拾貳錢



隊兵の進軍



(花) 亭 遊 ～ 敷



第二十八卷 幼兒教育 第一號

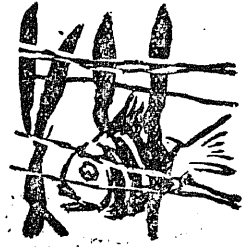
昭和三年一月

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて產れたもので有ります。



私が視察した歐米の幼稚園教育(八)

堀 七 藏

一

獨逸國に於ける幼稚園教育の情況につき説明するに當り先づ獨逸國教育全般についての所感を述べます。獨逸國は多くの聯邦から出來てゐてそれ／＼政治教育等の状態が異つてゐます。しかし一九一九年制定の獨逸新憲法では就學義務が八年以上の小學校及之を卒りたる後滿十八歳に至るまで補習學校に通學することを原則としてゐるのでこれは全國共通であります。そして小學校は六歳より十四歳までの八年間でありますから六歳までが幼稚園であります。それで小學校はフォルクスシューレー(國民學校)といつてゐますがその中六歳より十歳までの四年間をグルンドシューレー、即ち基礎學校と稱し、如何なるものも必ず入學すべきことになつてゐます。このグルンドシューレーを経て更にフォルクスシューレーに在學して小學校教育を終り、補習教育を受けるものが大多數であります。グルンドシューレーを終つ

二

てミッテルシュレーに入學するものもあり、またギムナジウム又はオーバーレアルシュレーに入學するものもあります。女兒ではミッテルシュレーに入るもの、またリチウムに入るもの、またヘーレメツエヘンシュレー(高等女學校)に入學するもの等があります。これは聯邦によつて多少異なるのでありますが大體に於て獨逸の教育は我が國の教育と著しく似てゐます。我が國で多く獨逸を眞似た爲でありますが、また最近では獨逸が我が國の教育を研究し模倣せんとしてゐることもあります。一體ヨーロッパでも獨逸は我が國と國民性に於て類似したところが少くないやうに思はれますからいろいろの點に近似せる所が比較的多いのが自然であります。

二

獨逸の小學校は小學校も中等學校も午前八時始業であります。日出日没の關係標準時の關係であります。が、午前八時始業は中々に早いのであります。ハンブルグが北緯五十三度半、ベルリンが五十二度半南獨逸のミュンヘンでも四十八度でありますから一般に氣溫が低く一年中の最高溫度はベルリンが七月の平均で十八度、ハンブルグが十七度、ミュンヘンが矢張十七度であります。また一年の最低溫度一月の平均がベルリン零下〇・七度、ハンブルグ零度、ミュンヘンが零下三度であります。それにもかゝらず私が獨逸に滞在してゐた八月から十月末まで何時でも午前八時始業であります。十月の朝の八時はまだ薄暗く、雨が降る日などは甚だ寒いのであります。小學校の兒童は皆八時に登校します。尤も一年

生は一時間おくれて昇校する所が多いのでありますが、兎角八時始業で、第二時の休憩が多少長く、この間に女學校中學校などでは教師も生徒も食事してゐます。朝起きて仕度をして直に學校へ行くので家庭で朝食をしないのが多い。途中梨やサンドウイチを頬張りながら學校に行く子供も見受けますが、多くは第一時と第二時の間か、第二時と第三時との間に朝のランチをやることになつてゐます。面白いのは女生徒でも女教師でも廊下を歩きながら梨・林檎を皮もとらず、その儘かぢつてゐます。獨逸のみならず凡てヨーロッパ諸國で梨や林檎の皮をむいてたべません。殊に梨はへたの棒を棄てるだけで心まで食べます。尤も獨逸梨は皮もうすくて心も軟で、悉く食べる方がよいのであります。兎に角休憩時間に立食をし、廊下を歩きながら食事することは一向に不作法ではありません。吾等參觀人に接待しつゝ、サンドウイチ、それも丸いパンを二つに切つてハムを押込んだだけのサンドウイチをもぐ／＼食べ、また梨をたべながら教室に案内したり説明してゐる有様は誠に無邪氣なものであります。この時刻に小さな生徒などは牛乳をのみます。それで午前八時より午後一時まで授業をして、午後一時には凡て授業が終りますから所謂晝食(ランチ)を學校でなすことはありません。教師も生徒も午後一時に授業が終ると悉く晝食のため家庭に歸るか、レストランに行くことになつてゐます。英國の午前九時始業、正午より午後二時まで晝食の休憩があつて、午後二時より四時まで授業があるのとは大に異なる點でありませう。それで午後は教師も生徒も運動競技をする。冬の日とか雨の日には私立の體操組合があつて立派な

體操場をもち時間割が出来てゐて、幼児でも老人でも運動が出来るやうになつてゐますからそれを利用する。夏の日とか晴天には盛に運動をなすやうに公共の設備が出来て居り、また借用して運動が出来ることになつてゐます。

三

獨逸の小學校でも中等學校でも、校長は多く授業をしてゐます。ハンブルグの中等學校では校長を互選してゐますから校長も一定の授業時間があり、特に校長事務をとる時間が定つてゐるので、その時間に行かぬと校長に面會が出来ず、授業中に出かけると休憩時間まで待合さねばなりません。ベルリンの小學校では始業前に行くか休憩中でないかと校長に面會が出来ず、校舎はかきかゝつゐるから入口か校庭に待合せねばなりません。一年の生徒も教師もしめ出しを喰つた形で、休憩時間待つてゐる所が多いのであります。休憩時間になると校長は參觀のプログラムを定めて呉れ、多くは一時間以上參觀させるのが普通で、時には二日も三日も參觀して呉れとか、一週間以上續いて參觀せぬと參觀を許可せぬ學校が多い位で實に眞面目なものであります。この點で獨逸位授業を眞面目になし、眞面目に參觀させやうとする所はありません。よい加減の參觀は必ず斷る位に眞面目なのは獨逸教育の一特色でありませう。小學校參觀の授業方法を茲に述べる必要はありませんが、授業中に於ける兒童生徒も至極眞面目なものであります。ギムナデウムなどの十八九歳の大きな男兒が教師に代つて椅子を必ず教卓の前に据ゑて腰

掛けるやうにすゝめ、教科書を示して問答しつゝある所、學習してゐる所を指示する態度は實に眞面目で從順であります。我が國の中學生などの如く不眞面目な學習態度などは微塵もありませんのは實に羨しい位であります。單に參觀者を待遇する許りでなく、教師の手傳をして實驗や實習を完全に行はせる。各自のために教師が實驗作業をして呉れるのであるといふ様子が明白に現はれて至極學生らしい態度であります。これは女學生は勿論小學校生徒も誠に從順なもので、眞に學習態度が出來てゐるといつてよいと思はれます。要するに教師にも生徒にもズボラな所が微塵もない。自由と放任と混合したやうな英米の諸學校に於ける態度は獨逸教育には全く見られない所であります。ハンブルグでもベルリンでも實驗學校などと稱し、生徒の自由學習を尊重した教育の研究をなす所がありますが、それ等とても我が國の學校、或る小學校中學校の如き放任だか氣まぐれだか分らず、學習してゐるのかふざけてゐるのか分らぬといふことは全くないと思はれます。

四

獨逸は大戰後共和政府となり社會黨が多く政權をとつてゐるから風變りな所も少くないやうですが、獨逸は獨逸式に整然とした所が明白にあると思はれます。ハンブルグ政府では土曜日の午後から日曜日にかけて品物を賣つてはならぬ。賣つて者も買つたものも罰金をとられる位、八ヶましき規則になつて之を實施して居ります。勿論レストランで食事をするのは別でありますが、レストランと雖もエハガキ

でも何でも一品も賣ることは出來ず、食品として賣ることが出來ません。これも土曜日の午後より日曜日にかけて休業するのが一般、その間に賣買をして利益を得ることは社會生活の平和を亂すものといふ社會主義的の理論から出たものでありませうが、それを嚴格に實施してゐるのが獨逸式であります。禁酒の法律を實施してゐながらその法律が殆ど空文かと思はれる位な米國とは全く異なるところであります。更にハンブルグでも結婚せる女教師の奉職を許さぬ。女教師が結婚すると必ず退職せねばならぬ規則になつてゐるのであります。その理由とする所は結婚した女教師は教師と家事と二種の任務仕事をなすから、教師としての能率があらぬといふのはありません。女は結婚すると夫が扶養するのが獨逸の家庭生活の原則となつてゐますから、既に結婚して扶養する夫のあるものが更に教職にあつて獨身者の生活資料を得る途をさまたぐるのが不都合であるといふ社會主義的の理由からであります。結婚した女教師は必ず退職して獨身者に道を開くのが規則となつて實施せられてゐるのであります。これは獨逸婦人が他のヨーロッパ諸國の婦人に比して専ら家庭に主婦として活動することの多い理由にもなります。

元來獨逸では結婚して家庭をつくるには男女の負擔が嚴格に異なるのであります。農業立國の歴史を持つた獨逸の家庭生活は我が國に著しく似寄つた所があります。勿論我が國の如く家族制度が發達せず、青年男女が相寄つて一家をなすのでありますが、結婚するまでの費用一切は女子の負擔であります。適當な青年を娘のために探出す機會をつくるのは娘を持つた親の義務であります。冬季いろ／＼の會合を

つくつて娘が青年を知るまた適當な青年に娘が知られる機會をつくるのが親の義務であります。それでその費用は一切娘親の負擔であり、親が貧なれば娘は自ら稼ぐことによつて一切負擔せねばならぬ。エングーデの披露も娘側でなすことであり、結婚式の費用も女の負擔であります。また一家を持つに必要な家庭の什器一切、寢臺も寢具もまた臺所道具一切も女が負擔せねばならぬのであります。それで男は結婚するときは眞に丸裸でもよいのであります。その代り結婚後は夫が家庭生活に必要な費用は凡て負擔せねばなりません。妻は夫の收入によつて生活し家庭を整理して愉快な慰安所、夫の活動を完全ならしむるやうに十分なる休息慰安を與へるのが妻の任務であります。茲に於て夫婦共稼は出來ないといふことになつて、結婚すれば女教師は退職せねばならぬ。そして獨身にて自活せねばならぬものに途を開くことになるのであります。また獨逸では女子教育に於て家事家政の知識技能の修養を尊重することが世界無比であります。家政を處理することが女子唯一の任務といふのが獨逸であります。よく獨逸婦人が家政をとる能力が優秀だといはれるのは誠に理由がある次第であります。獨逸婦人が必ず自分で買出しに出かけ、いろ／＼節約利用の行届くのも女子教育の主要なる事項が家政であり、家政の能力を十分に養成するからであり、家庭に於ける實際が悉く女の双肩にかゝつてゐるからであります。またヨーロッパ諸國で子供を連れた婦人が外出し、電車や汽車に乗つてゐるも獨逸の特色で、英米などでは殆ど見受けられないのもこの家庭生活が女の獨占であるからでありませう。従つて獨逸に於ける幼稚園は英佛

米諸國の幼稚園保育學校と大分異なる所がある譯であります。

五

何れにしても大戰後の獨逸は失業者多く一昨年などは二百萬と稱せられ、ベルリン大學卒業者なども多く就職難にて道路修繕工夫として働くものが少なくないといふ位であります。またプロシヤだけで小學校教師の失業者二萬五千の多數ある位。その管でドクターの博士號を持つた人達が中學校にも小學校にも奉職してゐる位だから、師範學校卒業者は小學校に奉職することが出来ないといふのであります。大戰のために佛蘭西や丁抹などに領土をとられたから小學校が減少したので自然小學教師の失業者を出すに至つたのも確かに一の理由であります。しかしもつと有力な理由は大戰後出生率が著しく減少し、一九二五年から六年にかけて小學校の低學年兒童が著しく減少したから學級數の著しい減少となり従つて教師が不用になつたことであります。例へばハンブルグ市だけでも戰前二萬人の出生兒があつたものが戰後は僅かに七千人に減少したといふのであります。出生兒が三分の一に減少した爲めに一九二五年から低學年の學級が三分の一に減少したから教師の失業者を生ずるも無理からぬことであります。殊にプロシヤでは大戰中でも戰後でも師範學校で教師を養成したのでありますから一方幼兒が著しく減少したので茲に二萬五千の失業者を生ずるに至つたといふのであります。ハンブルグ市は大戰中から教員養成をやめたから教師に過不足がないとはハンブルグ市の教育局長の話であります。教員養成をなさずとも

大戦後の生活難で、男は結婚せぬため女教師は多く獨身者、退職するものもないといった有様であります。茲に一例を上げます。ベルリンの某オーバーリアルシュレーの校長が參觀に行つた私に、是非私宅に来て呉れと申しますから、物ずきな私は一も二もなく賛成してその校長と共に校長の私宅に行つたことがあります。校長の私宅はその學校から程遠からぬ住宅の三階であります。「これが僕の妻君であります。これが妻君の屏風であります。これがテーブルであります」といつたものを見ると、何れも支那の刺繡や支那の漆器で誠に高價なもの、立派なものであります。妻君が結婚のとき持參したもので、今も尙ほ妻君のものであります。妻君の父親はもと外交官か何かで、支那日本と關係があり、中々立派な身分の人であつて娘の結婚のとき新家庭の道具として與へたものでありませう。それで今も校長のもとはなく、その妻君のものであり、校長も明白に妻のものといつてゐるし、妻君も私のものと區別してゐる所が面白いではありませんか。夫のものは妻のもの、妻のものは當然夫のものといふ我が國の家庭とは大に異なる思想であります。その中にこの學校長が「君はどうして獨逸語を學んだか、ベルリン在住の日本人で獨逸語を教はりたいものはないか、僕は何曜日と何曜日との午後ひまだから君の知人を紹介して呉れ。獨逸語を教へてやる。」といつて内職をほのめかす。妻君はまた「貴君はどこに居られますか。シャバアストラッセにゐますか。私のところにあき間が一つあるから誰かにお貸したい。知人を世話して下さい」とこれは素人下宿をして家政の補助としたい考へ。更に「僕の長男は齒醫者で、タウエンチン

の方に開業してゐるから日本人で齒の痛む人に紹介して呉れ」といつて校長が町と番地まで詳細に知らせて呉れました。そして日本とは異りお茶一つ出すてはなく、お晝時でありますが自分達の用事をいふだけ言つて頼んだだけ。それでこちらには別に用事がありませんから只歸つたといふ譯であります。かく獨逸では高等學校長格の博士がかくの如くでありますから若いドクターなどは無給でも働く口がない位。それでありますから大戰後の獨逸は實に悲慘の極であつたと思ひます、尤も今は戦後らしいところは全く見えない程に回復して居りますから今後の獨逸は更に倍舊の勢を以て發展するに相違ないと思はれます。

六

獨逸は世界の音樂國といはれる位音樂が盛で普及して居ります。どこのレストランに行つても音樂をやつてゐない所はない位であります。丁度伯林滞在の中のことありますが一日音樂の宣傳行列がありました。三萬人もの大行列、これは音樂の組合が合同していろ／＼音樂に關する假裝行列や作りものをしてベルリン市中をねり歩いたものであります。子供も老人も男も女も加つて音樂を演奏しつゝ行列が行する。之をばさんだ群衆は更にその音樂に和するといつた有様であります。某日本人が「一ヶ年ベルリンに滞在してカントのゐたこともヘーゲルのゐたことも全く分らないが、ベートベンの獨逸であるといふことがよく分る」といつたのであります。カントやヘーゲル等の哲學者を多く出してゐる獨逸で、

その哲學臭味よりもベートベンの音樂氣分が今も尙ほ著しいことを感ずるのは明白であります。世界の樂器製造は獨逸の專賣といつてよい位であります。ベツシユタインでもスタインウエーでも有名な樂器は何れも獨逸の會社製であります。米國は勿論英國でも佛國でもやす樂器は出來ますが到底獨逸品には及ばないのであります。それでゐて獨逸の學校にピアノが殆どないのは奇蹟といつてよいと思ひます。戦後の獨逸小學校ではピアノの如き樂器を贅澤とするのが一理由であります。ピアノは多數の聲樂に伴奏として必要でありますし、大きなコンサートには必ず必要とする樂器であります。三十人やせいゝ五十人の音樂教授には全く必要でない。ピアノがなくば音樂の教授が出來ない筈がないのであります。わざゝ音樂教室を必要とせず何時でも必要に應じて音樂の練習をなすにはヴァイオリンが小さくて便宜であります。ヴァイオリンは樂器としてもピアノよりは進歩せる樂器であります。小學校でピアノを必要としないのは煉瓦建築で他教室の妨害とならぬからどの教室が音樂をやるも差支ないこととが一つ。ピアノは持運ぶことが出來ずヴァイオリンは何時でも出來る。安價で技巧に富むヴァイオリンを使用するが遙かによいのであります。またどの教師も皆ヴァイオリンをひくことが出來、どの教師も音樂教授をなし得る技量があるのでありますから音樂教師、音樂室、ピアノといったものが必要でなくなるのであります。兎に角獨逸のみならず歐米の小學校で音樂教室を必要とせず誰でも音樂をそゝくに教授し得るのは我が國と事情の異なる所であります。我が國は西洋音樂を強ひて採用したが爲に

特殊な事情にあることは勿論でありませうが裝飾的に高價なピアノを競争的に小學校や幼稚園で備付けんとすることは少くとも考慮を要することと思はれます。もつと簡單な方法で音樂遊戲の教授が出来るやうに工夫せられねばならぬと思ひます。獨逸の小學校で音樂室はないが理科室が必ずあるのも誠に獨逸式でありますが、普通教室にてヴァイオリンで音樂教授をやるのも全く獨逸式であります。

七

獨逸婦人が節約利用の精神に富んでゐることは多くの人が申す所であります。確かに節約の精神は女中にも普及してゐるのは全く感心する位であります。シャツの小さな貝ボタン一つ床上に落ちてゐても掃除のとき見つけると必ず拾つて置くのであります。紙屑でも新聞紙でも利用出来るものは必ず利用することを怠りません。小學校の低學年では油繪は程度が高い。油繪具の取扱が出来ませんから茲に一つの畫法が行はれてゐます。それが色紙の利用であります。いろ／＼のものを包んだ色紙は家庭でも學校でも注意すれば廢物として多くあるのであります。その廢物の色紙をためて置いて、それを千切つて糊をつけて廣い臺紙に貼付けます。勿論臺紙も廢物を利用するのであります。特に畫用紙を使用せず包紙の色のついたものを利用するのであります。我が國で近頃手工テープが工夫せられてゐますが寧ろ廢物利用の獨逸風の繪がよいと思ふのであります。手工テープといふ特殊なものを購入して使用すれば便宜も多いのでありますが、廢物の如くいろ／＼の變化を求むることが出来ませんし、廢物を利用すること

に非常に價值がありませう。若し廢物利用の精神を以て小學校幼稚園などの圖畫手工玩具などの工夫をなすならば非常に材料も多く面白いものが出來ます。マツチ箱利用、お菓箱子やブリキ罐を利用することも小學校幼稚園で出來るものが多いのであります。また果物の皮や種子などを利用した自然物利用の玩具も數多く工夫出來るのであります。いろ／＼の材料を與へて之を工夫していろ／＼の表現をさせることは是非幼稚園小學校で行はねばなりません。出來上つたものを使用して單にそれを破壊するが如き態度を養成する教育は甚だ面白くない。廢物の如きものを組合せて構成する態度を涵養する工夫が我が國の家庭教育學校教育を通じての急務であると思ひます。この點に於て獨逸の教育は徹底してゐると思はれるのであります。作業教育を高潮し實施するもまたプロジェクトメソッドが米國に於て主張せられてゐるのも皆手近に得られる材料殊に廢物を利用して構成する能力の養成を主眼とするもので我が國の教育では大に覺醒して獨逸の範にのつとる必要があると思はれます。



我國幼稚園教育界の現状と問題(一)

倉 橋 惣 三

我國の幼稚園教育界は、大體の趨勢に於て、素より發展の方向にある。殊に、幼稚園令の新定は、我國幼稚園教育の永き根本的缺陷を充たすと共に、之れを一劃時期として、幼稚園の立法的基礎と、社會的使命とが確立せられた譯であつて、將來の發展に向つて、合法的新出發點が置かれたものといへる。且つ、其の後の實狀も徐々ながら、喜ぶべき進程を進みつゝあつて、斯界關係者諸氏の熱意と努力とは見るべきもの決して少しとしないのである。

しかも、焦慮を以て斯の教育を凝視しつゝあるものよりすれば、現状に向つて、不満足を感じしむること、依然として甚だ多い。こゝに、歳首にあたり、同志諸君と共に、斯界の喜憂を語つて、本年の計を立てると共に、自ら鞭打するところあらねばならぬと思ふ。

一 幼稚園増設の問題

先づ喜ぶべきは近年に於て、我國幼稚園の數の著しく増加しつゝあることである。之れは、一面、現

代社會生活の情勢による自然的現象であるに相違ないが、また以て、幼兒期教育の理解の發達せることを認めなければならぬ。殊に、入園志望者の激増は、愛兒精神に於ける、家庭の覺醒の著しきを示すものである。尙ほまた、これによつて、從來往々にして、幼稚園教育を特殊富有家庭のものと考えられてゐた偏見が、社會的平準に歸しつゝあるものと見ることも出来る。誠に喜ぶべき傾向といはざるを得なう。

ところで、此の著しき幼稚園普及に就て、見落すことの出来ない事實は、新設幼稚園の殆んど全部が私立幼稚園であることである。而して、吾人は素より之れを喜ぶものである。すべて教育上の私立施設は、其の設立者の教育的識見と感激とに發するものであつて、此の種特志家の多數にあらはるゝことは社會の教育意識の向上を示すものに他ならぬ。また、私立施設は、その地方的必要に對して、公立施設よりも速かに順應せるものであつて、此の意味から見れば、私立幼稚園の増設は、現時に於ける各地方の、幼稚園に對する急速なる増進を證してゐるものである。いづれにしても、最も喜ぶべきことである。更に進んでいへば、私立施設は、公立施設よりも、其の教育的主張を容易に實現し得る、大いなる便利をもつものであつて、殊に幼稚園の如き、土地の情況に適應することを最も必須とするものに於ては、幼稚園教育の多種性（ブライムズ）といふ點からも、よき私立幼稚園の増設を、大に歓迎するものである。

しかも、此の喜ぶべき現象に對して、公立幼稚園の發達が、殆んど停滯の状態にあるかの如きは、誠

に遺憾にたえずることである。勿論、箇々の内容については、當事者の努力によつて、大に充實されつつあることを疑はないが、少くも數の上に於て、頗る遺憾の状態にある。教育は、各種の私立施設を迎ふると共に、一般的社會施設としては、當然、公立によつて、普及されてゆく必要がある。之れ、公立が私立よりよいといふ如き、舊弊なる意味ではなくして、教育に對する社會自體の當然の責任事實として、そうである筈なのである。しかるに、現状の如きは、その意味に於て、社會自體の遺憾とせざるを得ないことである。素より、之れにも、いろ／＼の理由的辯解が成り立たないではない。教育施設に關する一般公費の關係の如きは、いつも、其の理由として擧げらるゝものである。しかし、すべての公的施設の場合に於て言はれ得る如く、それは、費額そのものゝ問題ではなくして、施設に對する理解の問題である。すなはち、我國現状に於ける、公立幼稚園増設率の少きは、幼稚園教育の必要に就て、自治體當事者の理解の不足に歸せざるを得ぬ。相當の都市町村に於て、幼稚園の増設の如き、經費として實は決して大項目ではない筈である。若し、當事者にして、其の必要を知ること切なるものがあらば、其の實況決して困難でないのである。

我國に於て、自治體の幼稚園施設として、最も進歩せるものは、恐らく岡山市であらう。市の公立小學校と、市の公立幼稚園とが、殆んど同一的に取扱はれてゐるのは、同市の最も誇つてよいところである。次に、數の比率に於て岡山市の如くてないが、其の絶對數と、施設の充實に於て、確に發達せるも

のは大阪市である。素より、箇々として優れたる幼稚園は他の市町村にも少くないが、自治體の幼稚園教育に對する普及的態度としては、此の二市以外の地方は甚だしく不充分である。切に考慮せらるべき餘地が多いのである。

幼稚園に於て、幼稚園は所謂隨意施設であつて、義務施設を強めることは、少くとも今日に於ては出來ない。しかし、幼稚園令精神は、明かに其の一般的普及を期してゐるのであつて、殊に、公立幼稚園の普及を期してゐるものであると信ずる。吾人は、教育施設の内容價值として、公私の別を一切等差するものではない。しかし、我國の幼稚園教育普及の全般的意義に於て、現状の如きは、公立の餘りに發達なきを健全なる現象と見ることは許し難い。私立幼稚園の益々増設せらるゝと共に、公的施設としての幼稚園の發達促進こそ、主要なる努力の一つの方向でなければならぬのである。

二 保姆養成機關の問題

幼稚園の普及と共に、最も肝要なる問題が保姆の養成にあるは言を俟たぬ。

此點に關して、既設の各保姆養成所が、幼稚園令の示すところに従つて、其の充實を加へたことは勿論である。假令へば東京、奈良の兩官立施設も、學校長の方針と當該關係教官の誠意によつて、益々其の完成を期せられつゝある。しかも、國立の保姆養成機關として、その規模に於て、未だ多くの擴張

の必要がないとはいへない。その定員に於ても充分でないが、之れは附屬幼稚園に於ける實習の關係があるとして、奈良の附屬幼稚園に於て、その實習の機關としての必要上、先年度に於て、保姆定員の増加の行はれたる如き、事は小なる如きも、其の進むところを見なければならぬ。

次に、其の養成年限に於ても僅かに一ヶ年を通則とするは、決して満足すべきでない。東京の保育實習科が、一ヶ年以上二ヶ年となつてゐて、將來に於て、此の方面の充實の餘裕を存せるは、其の希望のあるところを見得るのであるけれども、しかし、現在の實際は、幼稚園令の示すところの最少限度によつて、一ヶ年が普通と考へられてゐる。之れは、保姆の待遇の關係から定められた資格であつて、立法上の論據に出づるものであるが、一ヶ年の教育を以て、決して充分とすべきではない。諸外國に於ける例は勿論、現に、我國に於ても外國人經營にかゝる養成所に於ては、寧ろ二年を通則としてゐるのである。但し、養成所の内容の問題は、茲に多く論じないとして、一層問題とすべきは、其の數の點である。幼稚園令が公布せられた時、もつと速に、各地に保姆養成機關が設けらるゝかといふ希望は、多くの人の胸にあつたのである。しかも、吾人の知るところによれば、特志家による一二の私立施設が設けられた外、特に公的に、その新設せられたるを聞かない。勿論、今日の幼稚園の全數から考へて、各府縣に委く保姆養成機關が設けらるゝ必要があるといふ様なことは言へない。しかし、一養成所の定員は、述前の如き事情によつて、頗る限定せられざるを得ないので、全國樞要の地點に於て設置せらるゝの必要が

ある。殊に、定員の少なきと、實習機關を具備すべきことのために、保姆養成所の設立は、簡人經營として、頗る難事である。一種の犠牲事業たらざるを得ないのである。社會は拱手して、之れを特志家の出づるに待つてゐるべきものではない。

更に考察を細かにすれば、現在に於て、幼稚園の保姆は其の年齢と待遇の關係上、自由に遠隔の地に赴任することが容易でない。出來得べくんば生地、然らざるも、居住上好都合なる事情のある土地に於て、就職するといふことは、公職としての理論上の議論は別として、其の幼稚園の爲にも實際上便宜の多いことである。従つて、それ／＼の地方に於て、その保姆を得ることが都合がよいのである。それには地方的に養成するがよい。殊に今日の如く、多數の志望者が、僅か一ケ年の修業のために、遠く中央部に集まることは、簡人的經費の上に於ても不便が多い。即ち、少くとも、全國數地に適當に配置せらるゝ必要がある。

尙ほ、保姆の養成機關に附隨して、保姆の學力補充機關も亦、極めて必要である。すべての教育に於て、教師の學力補充といふことは絶えず行はれてゆかなければならぬものであるが、幼稚園の如き、僅か一二ケ年の特別教育を以て資格とするものに於ては、其の必要が殊に多いのである。又、現在の實際として、小學校正教員の資格あるものは、幼稚園保姆たり得るといふところから、小學校の教育には充分の經驗を有し、教育者としての一般的實力に於ては充分であるが、幼稚園教育に就ては、聊か理論上

の教養を缺くことがあり得ないと限らない。その場合、是非とも必要なことは、その學力補充の機關なのである。

而して、此の爲に從來執られた方法は、多くは其の時々の講習會であつた。東京と奈良とに於ける文部省主催の夏期講習會のみは、恒常的といつていゝもので、此點は、文部省に向つて、其の施設を多としなければならず、益々力を用ゐられんことを切望にたえぬ。そののみならず、各地に於ける幼稚園講習會も、從來に於て、多大の貢獻をしてゐるのである。殊に幼稚園令公布後、府縣なり市なりが、保育會主催と相俟つて、公的の講習會を催す風の起つたことは、誠によろこぶべきである。吾人の希望するところ亦、そこにあるのであつて、各自治體の教育當局が、小學校教員のために講習會を常催するとともに、幼稚園保姆のためにも、之れを常催するに至らんことを望んでやまぬのである。

尙ほ、此の問題に關聯して、各地に、幼稚園教育に充分の理解ある視學の任命せられんことを希望せざるを得ない。いふまでもなく、視學の任務は、單なる教育行政の管轄ではなくして、地方教育の實際上の指導である。その指導は、教育の全般的方針に就てゐるが、教師に對する實際指導も亦、その重要な一面である。幼稚園でいへば、保育上の新説の説明、新方法の批判、新設備、新教具の紹介、必ずしも新の紹介のみでなく、實際の批判、之れ等は、視學當然の任務である。之れ等のことは、實際家の任務に相違ないが、日々多忙なる實際に執筆するものにあつては、研究の暇が意に任せぬところも

ある。深い研究と、親切な態度とを以て、指導をして呉れる人があることは、極めて有益なことである。然るに、現在に於ては、視學は他の方面に忙しくて、幼稚園のことに、充分積極的に力を用ゐ難い場合が多い。之れは、地方幼稚園の發達の上に、いつも最も遺憾とされてゐることである。

此の他、保姆養成及學力補充に大關係を有する一つの問題は、全國各府縣立女子師範學校に必ず附屬幼稚園を附設することである。これは現行法規に於て隨意になつて居て、未だ、其の附設を見ざる處がある。普通教育の研究機關であり、普通教育者の養成機關である女子師範學校として、其の本質上から言つても缺陷たらざるを得ないが、殊に、幼稚園令に於て、小學校正教員は保姆たり得るのであつて見れば、すべての小學校正教員は當然、幼稚園教育に關する教養を與へられてゐなければならぬのである。之れは、幼稚園令に當該條項を規定するに當つて、一つの重要な實際問題として論議せられた位のことであつたのである。勿論、今日の師範學校の教育科の教授要項の中には、保育法といふこともあつて講義だけは受けてゐる筈であるが、それも、實際に於ては甚だ不充分である場合が多い。それでも附屬幼稚園があれば、自らその理解も助けらるゝ譯であるが、附屬幼稚園の設置のない場合には、到底、幼稚園教育の正しい理解は與へられないのである。若し、附屬幼稚園あり、その主事又保姆の人々が、此の教育に就て、専門の研究をつゞけてゐれば、それが府縣内の幼稚園教育界に、自ら、直接間接の貢獻をなし得る次第である。女子師範學校の完備の爲にも、地方幼稚園教育界全體のためにも、之れは是非とも實現せられたいことである。(以下次號)



一月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園

ト

部

た

み

一月の主材

○四方拜

○年賀

○一月の町

(門松、初荷、まんざら、獅子舞、猿まはし等)

○一月としての行事

(七草粥、内松、鏡開き、消防出初式、大相撲)

○お正月の遊び

(新年會、かるた會、すご六、追羽子、こままはし、風揚げ、お手玉、其他)

○一月の草花

(福壽草、梅、水仙、寒ぼたん、寒菊、南天、あもと、やぶこうじ等)

○雪遊び

(雪だるま、雪うさぎ、雪つり)

○一月の誕生會

曜／週	第一	第二	第三
1 一月の生活	<p>始業式 教生紹介式（於小學校） 幼稚園教生紹介 お話 唱歌 遊戲、ピアノラの曲をきく</p>	<p>各自の休中のお話 （面白かつたこと） スゴ六、トランプ、カル タ、ハネツキ、風あげ、 お汁粉、お雑煮、カキモ チ 新年會の仕度 繪、本よみ、紙切、折紙） 等雪合戦を見る 雪つり、雪うさぎ、雪だるま 作り、火にあたったりつゝ雪の 問答</p>	<p>自由遊び 羽根つき、雪遊び、影繪 お正月遊びの話 火にあたったりつゝ觀察、 問答 唱歌、ジャンケンボン第一 遊戲、練習 お仕度、つこ、お迎へ、つ こ（和結び、ボタンカケ、靴 はき、帽子マント）</p>
2	<p>自由遊び（文字、數觀念調 査、日曜に遊んだ話、繪、 折紙等 談話（悠ばり子唄） 話の内容の觀念畫（自由） （本校附屬校庭） 散歩 （寒菊池、氷、枯草、霜、つら ら、南天、葉ぼたん 運動（走りつこ、山登り、リ レー） 唱歌ジャンケンボン練習）</p>	<p>自由遊び（同上調査） （焚火、芋焼き、芋ふかし） （この間のまゝごと） 丙組合併會食 （あと始末） 右の事により繪、觀察等行 はる 唱歌ジャンケンボン第二段 遊戲ジャンケンボン其他</p>	<p>自由遊び（同上調査） 散歩（傳通院、銀杏寺境内） 自由畫手技に發表 談話（紙風せん） 唱歌遊戲（ジャンケンボン 其他</p>
3	<p>自由遊び 繪、手工、談話（日曜の發表） 誕生會の仕度 裝飾、おくりもの作り お話あそび練習 唱歌遊び練習 唱歌、夕暮のうた（第一段） 自由遊び （午前の續きをして遊ぶ）</p>	<p>自由遊び 誕生會の仕度 前日に同じ 御案内のポスター作り （おくり物ののし作り （一齊に） 唱歌、夕暮のうた（第二段） 遊戲、唱歌（既習練習）</p>	<p>自由あそび（前日におなじ） 本讀み おくり物作り、御手紙（繪ハ ガキ）作り 談話（水仙になつた少女） 著音器（食事中よりつゞく） 明日のブロッケラム作りの相 談 唱歌。遊戲お話あそびの練 習 唱歌遊戲（夕暮のうた新授）</p>
4	<p>小學校入學調査のため休み</p>	<p>お休の日の話 繪、談話に發表 談話（雪の御殿） 花壇の世話、砂場の掃 除、小鳥の世話等手 わけてするうちに觀察 自由遊び 遊戲唱歌練習（夕暮のうた 其他）</p>	<p>自由あそび 一月分身體検査 散歩（本校の庭——江戸川 べり——牛天神） 手技談話に發表 唱歌練習</p>

第 六	第 五	第 四	第 三
<p>自由遊び 賣買遊びの仕度つづき つづいて賣買遊び 唱歌ジャンケンボン第一 八段練習其他 遊戲練習</p>	<p>散歩(本校校庭、寄宿舎庭、公設市場等) 冬枯の植物、霜つらら、氷柱、氷、太陽、影、雲、(色、形、方向等) 觀 空の色、銅青鳥類、市場の八百や、魚や、炭や、大馬、其他 祭 テニス、ジャンプ、砲丸投げ、薙刀、體操等 自由賣(觀察事項の發表)市場の八百や、炭や魚やこつ仕度</p>	<p>新年の集り會(一年と合同) お鏡開き會 おももち焼き、お汁粉作り 開會 唱歌 遊戲 お話 お話あそび 樂隊 會食 かるた會、其他双六、羽根等</p>	1
<p>自由遊び 本校門前通り觀察 昨日に引續き電車道作りより家、犬、電柱。人。樹等を畫きて切り抜き、町の合作となる 唱歌、夕暮のうた(第一段新授) ジャンケン、其他の練習 遊戲同上</p>	<p>本校門前通り觀察 (主として電車を中心として) 電車の問答等より繪に入る。次に切り抜き立てる。壁に臺紙をはりそれに電車をはらべてはらしむ (電車道の合作) 唱歌電車其他ジャンケンボン練習 遊戲同上</p>	<p>自由遊び (積木、色板ならべ、本よみ、折紙) 談話(熊太郎) 塗繪(右の話の内容の一場面)其他自由畫 遊戲。影ふみ、リレー、毬投げ、色カード、たゝき鬼 本校門前通り往來觀察</p>	2
<p>自由遊び 一二組男子を中心として角力ごっこ(女子見物) 散歩(寄宿舎の庭) (採集の落葉にて細工、繪、其他) 唱歌、遊戲、練習</p>	<p>自由遊び(同上、まゝごっこ) 談話角力ごっこ 繪(同上の話より繪に入る) 唱歌(夕暮のうたつづき新授) 遊戲(授) 運動、網引、リレーボール 遊び</p>	<p>自由遊び 一月生れ誕生會 母の會 遊戲練習會 自由遊び</p>	3
			4

色カード遊び

玩具祭り等の遊びに引續いて他の遊びをと考へて居りました處へ、先頃文部省主催の兒童生活展覽會及び府主催の答禮人形送別會の御もとめに應じて發表致しました遊びに就て、其後かなり多くの幼稚園から御問合せが御座いましたから、此の紙面を拜借して御批正を仰ぐ材料といたします。

題目。(かぞへ遊び) 又は (兵隊とお花)

出所。(幼稚園の遊戲歌)の中から

歌詞。(一)

ひとりふたり三人四人五人六人七人八人九人十人兵隊さんが進みゆく。

(二) 十人九人八人七人六人五人四人三人ふたりひとり兵隊さんが皆歸つた。

(三) 一りん二輪三輪四輪五輪六輪七輪八輪九輪十輪お花が咲きました。

(四) 十りん九りん八輪七輪六輪五輪四輪三輪二輪一輪お花が皆つぼんだ。



是は幼稚園の遊戲歌の中に出てゐる兵隊さんの歌に加へて、私が女の子の爲め特に(三)(四)のお花の歌を作り、それに動作をつけたもので、十人以上人數の多い時でも或は少い場合、どんな場所でも自由に遊ぶ事が出来ます。單に一定の形をとつて遊戲室でするのみならず、室の中なり戸外なり椅子に坐して圓形或は其他の形をとつてゐる場合でも、色々方法に工夫を加へて遊ばせて居ります。遊び方。(一)列圓形。圓心を向く。又は(十人一組宛横に一列に竝ぶ。)

(一) ひとり 先頭の第一番目が一步前方に踏み出す。

ふたり三人。……順々に同様に歌に合せて一步前進。十人迄同様。

兵隊さんが進み行く。……全體先頭の方を向き行進。

歌が終ると又全體圓心に向ふ。

(二) 十人……十番目は一步後へ舊位置へ戻る。

九人八人七人……順次に同様に一步後へさがる。

兵隊さんが皆かへつた。……全體初めと反對の方向へ行進舊に歸る。

(圓の廣さ即ち人數に依り出方を種々かへる事。又一列の時は一と二の歌の間に二拍子の曲を入れてスキップで圓形に一周せしめて舊位置に戻つてから次の動作に入る事種々工夫出来ます。

(三) 一輪二輪……花も同様で一輪宛前へ出る時左右から圓く手を上にひろげて花の開く形をする。或は全體しやがんでゐて一輪宛立ち乍ら

手を上に開いてもよろし。

お花が咲きました。……一同歌ひつゝ八呼間拍足、足踏。

(四) 十輪……十番目は左右から手をあろしつゝ舊位置へ一步戻る。或は手をあろしつゝしやが

むてよろし。

お花が皆蕾んだ。……圓形の時は手を拍ちつつ又は全體手をつないで圓心に向つて前進。横一列の時は、靜かにねむるかたちをする。

此の遊びをして居りますうちに、子供はだんだん持つ物を要求して參り、砂場で使つてゐた砂ごてを逆にして右の肩に鐵砲の形に持ちました。暫くしてから畫用紙で帽子作りが初まりました。大きい組の子はどうやら學帽に模して型をかき色を塗り缺を入れ、あやしげな手つきで周圍と天井とを長い白糸を通した針で一心に縫ひつけます。糸が抜けると、女の子が口をとがらせて針の穴に糸を通してやつてゐます。こんな處をみますと何ともいはれない愛らしさにほゑまれます。

小さい組の子には畫用紙に型の線書を謄寫刷にしたものをあてがひます。女の子は五色紙（美しいちり紙）を小さい四角に切つた花びらの角を丸

めて集めては花の冠を作ります。冠が出来上る迄の熱心さには感服します。出来上つた冠をかむつて廊下といはず、庭といはず踊りまはり、しまひにははしやぎ廻ります。自分の力で美しい冠を作りあげた愉悅を押へ切れない幼児と共鳴して私も一緒につかれるまで踊りました。

なほ此の歌は一から十迄の順計及び逆計を自然のうちに知らせて居ります。子供の喜ぶのは歌ひつゝ自分の順番をまち、自分の番の來た時、すはこ、そと動きたい心持を充分に満足させる事の出来る處にあると存じます。そして數生活に目醒め初めた幼児に、或は數の環境を作り出すためにも趣ある材料と存じます。但し是によつて一から十迄の順計逆計を教へ込まうとして、歌の氣分を無視して強いて計算に入つたりするのは、私は大嫌ひでございます。といつて幼児の數生活指導については充分考慮と計畫をもつて扱ふ事は決して忘れ

てならない事と存じます。例へば一人二人三人、或は一輪二輪三輪等といふのは、序數即ち順序數としての數稱であつて、

こゝでいふ三人なり五人は第三人目又は第五人目であるが、基數としての三人、又は五人ではないといふ様な事を何も考へないで、幼兒の芽ばえてゆく數に對する興味にこんがらがりがや誤をもたせる様な事のなきやう注意すべきで御座います。幼兒の數生活遊びについていづれ又記させていたします。

桃太郎のお話遊びに就て

赤坊が片言をいひ初める頃から、生れるとすぐから聞く話は第一に桃太郎のお話で御座います。

入園早々第一にきくお話も桃太郎です。此の御話を繰りかへし／＼して行く間に、だん／＼の中に、出る問答は幼兒と保姆、幼兒相互といふ様に進み、漸次に起して來てお話遊びに導くのが、幼稚園で

あると存じます。幼兒に對話させて見せようとか、何々會に出すのだからといふのではない事は、解り切つた事で御座います。桃太郎についての對話は多くの著作がありますが、あの桃太郎のお話遊びは五年程前に長尾豊氏から御教示にあづかつたもので、材料といひ程度といひ、場面のとり方といひ、實に申分のないもので、どんなに幼兒を幸福にするものであるか知れません。幸ひに最近同氏の「低學年教材のやさしいお話と遊戲の取扱ひ」といふ書物及び其他を發行せられ、桃太郎のお話遊びは、其の第一編に載つて居ります。幼兒の教育十一月號の後の扉に廣告の出たのを見て、幼稚園教育のためにも眞實に嬉しい事と存じました。

私は實際取扱上、犬猿雉子等なるべく人數多くし、桃太郎さんにあつてお團子をいたゞいた度に一回づゝ「桃太郎さんの御供には（幼稚園唱歌）」

の齊唱をしてまはる事といたしました。勿論一組なり全體の何れの幼兒も、何の役でも交る／＼して遊ぶといふのが又眞當の遊び方であると信じます。

桃太郎初め家來達の冠、反び團子、袋等凡て幼兒各自の手披によつて出来る處にも面白味と價值があります。其他お話あそびの教育的價值は私などが申す迄もなく、幼兒自身はすてにして居りますが、すぐれたよい材料を精選して幼兒に與へて見て、つく／＼味ひ知る事が出来ると思ふので御座います。(一一—一二—一三)

◎唱歌遊戯

本書は女流體育家高橋キャウ子さんの著。赤表紙に男女六人の幼兒が歡喜に満ち／＼て遊戯せる模様を表出してゐるところが面白い。曲譜をあげて振をつけ、いろ／＼の注意までつけて、十一種の幼兒に好適な唱歌遊戯を説明してある。それに岡本歸一氏が特に唱歌遊戯にふさはしい、大人も子供も大變よろこぶ繪、鮮麗な色版を八葉も加へられたことは一段とこの書の價值を宣揚してゐる。見るにも奏するにも遊戯するにもこの上なき良書。この書を手に入れば自ら手の舞足の踏む所を知らぬ状態に置く、單に幼兒のみならず保姆も母親も。

(定價金貳圓八拾錢 東京、右文館發行)

遊戲に忘れてならぬ三つの要件

土 川 五 郎

音樂の伴ふ遊戲を幼兒に與へますには遊戲を精撰する事が極めて大切であります、幼兒に遊戲を與へて幼兒の教育に資せんとする眞面目な考へ方から云へば中々輕卒には出來ません、況んや自分で遊戲を作つてこれを與へるには殊に慎重な考へ方が大切であります、こゝに三つの大切な要件があると思ひます。

第一、幼兒の心と體とに適合したもの、云ひ換へれば幼兒の世界のもてなければなりません、其曲も其歌も勿論でありますが其振り即表現が幼兒のもてなければなりません、即ち原始的であるべき筈です、直線的な太い線で現はされねばなりません、微細な筋肉を使ふ様なものは

幼兒を毒するものです、幼兒の神經を疲勞せしむる様なものは決してとるべきではありません。又一つの振りが、修練に修練を経て漸く現はれて來る様なものも又幼兒のものではありません、大人の表現の如き、日本舞踊のある手振の如きは中々六ヶ敷所謂専門の名取りである人ですら容易でない様な振りをやすくとり入れてなさしむるに至つては言語道斷と云はねばなりません、よく専門家が迷惑顔に非難するのも此の點です。

日本舞踊の藝術としての價值は十分に人も我れも認める所でありますが専門的に修練した人が表現すれば實に立派な藝術でありますが所謂素

人が其物まねをして作られた其ものは鶴式で藝術の價値がありません、實に見にくいものです。それよりも幼兒の藝術はもつと純です、さつぱりとして、あまり加工されない、心其まゝが現はれたる藝術です、すぼつとした落削りの彫刻の様なものです、こゝに幼兒の眞純さが閃めくのです。

こゝに幼兒は没頭し得るのです、そこに幼兒の藝術の尊さがあるのです、幼兒の圖畫をよく見て、これによつてよく考へて下さると思半ばに過ぎぬ所が感じられるのであります。

第二はリズムと音と振の關係に注意する事です。

リズムは相異なつた種類のリズムが周期的に繰返されて一つの曲が出来るのです、第一小節から第四小節までのリズム第五小節から第八小節迄のリズムが異つて居れば初め四小節の表現の仕方と次の四小節の表現の仕方とは異ならねば

なりません、八分音符と十六分音符とあつて其間に符點があつてそれが連接されて居る場合には跳躍的の運動が起ります、二分音符のつゞく場合には摺足が起る様に其音符のリズムにより手の振りも足の蹈み方も異なるのです、よく其曲中にあるリズムを分解して之に適した振りが使はれねば快感が起りません、何となくやりにくい運動は其のためです、又音の高く上つて行く時と下つて來る時とは又運動の仕方が異なるのです、これを考へずに唯歌詞に捕はれて作られたものは其曲の氣持を破壊します。

其リズムと音と運動とが、びつたり合致した所に或何とも云へぬよい氣持ちが出るのです、之に反してそれが合致せぬ場合には精神的にも身體的にも不快の感が起るのです、此の點がかなり遊戲を作られる方にも見通されて居る事があります、こゝが遊戲には最も大切な事である

と思はれます。

第三には遊戲によつて幼兒の美的感情の基調を作る時代であるから一部分一部分が美を失はぬ様にせねばならぬ事は誰れも周知の事であります、併し一つの遊戲に面白い手振があるいろいろな美的表現がある、それによつて歌の感じも現はれて居るといふだけでは決して満足すべきものではありません、唯に満足が出来ぬ許りでなく、それこそ大切な――物を忘れた何等の價値のないものです。

こゝに最も大切な事は、全體的總括的に一つの藝術になつて居る事です、童謡でも幼兒が云つた其まゝが全體に詩になつて居ない場合が多いのです、斷片的には幼兒の生活其まゝがよく表はされて居ても全體的として一つの詩にならねば價値がないと同様に遊戲が斷片的によくてまとめた所に調和があり統一がある一つの藝術

として價値が備はらねばなりません。この點がよく忘れられる點であります。

以上極めて簡單で概括的でありますが此の三つの點に注意して多くの遊戲から撰擇せねば幼兒を害ふものであります、又遊戲を作る人は尙更此の點に周到なる注意を願ひたいのです。

尙附加へて申したいのは幼稚園で幼兒に成るべく下品な詞を使はぬ様に仕向けて居て、其唱つて居る歌には随分下品な詞を平氣で歌はせる事がある、又振りも如何にも下品な手踊り式、寄席藝術の感を起すものを樂しさうにやつて居る事もあつて、又曲が如何にも俗謡民謡に近い、低級の音樂を使つて居る所もある、幼兒の趣味を高級に導くべき責任者が平氣で低級のものを使ふのは實に不思議である、側に聞いて居るものが、ホラ、ソラコリヤ――と掛け聲のしたくなる様なものを選ぶのは先生の頭が低級である事を證するのである。

彼の文部省の小學唱歌を先生自身でよく玩味して御覽なさい(中にはよいと云へぬものもあるが)自ら悟る所があるであらうと思ふ。

ところが幼兒教育者は小學校の先生より種々な點に於て保育の上に自由を附與されて居るので、それが却て害を醸すといふ様な弊に陥り易いが、先生の頭がしつかりして居つて修養が積まれば積まれる程其與へられた拘束のあまり多くない保育者たる我々は實に手腕を奮ふに都合がよいのであります、御同様に慎重に考へて少しでも幼兒の幸福に發育する様に努めませう。

生徒募集

本科生徒 五拾名

研究科 若干名

右募集ス

出願期日 昭和三年二月二十五日迄

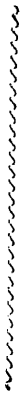
詳細ハ本規則ニヨリテ了知セラルベシ

規則入用ノ方ハ二鏡切手封入申出ラルベシ

東京市外大井町五、二〇八

東京昭和保姆養成所

所長 土川 五郎



はつかねずみの話

哲 化 人

簡單に飼養出来る小動物のうちで哺乳類に屬するものは、可成高等な智能や巧妙な習性を面白く觀察することが出来ますが、その飼養する簡單さや場所の經濟の點で、はつかねずみはもつと一般に飼はれるべきものだと思はれます。犬や猫とは又變つた面白味があり、兎程手間がかゝらず子供の遊び相手として觀察の對象として手頃なものであります。御承知の如く、はつかねずみは齧齒類に屬してゐまして、その特長である門齒は、餌を食べてゐる時によく觀察されます。この類の門齒は上下各々二枚づゝありまして、前面に琺瑯質の一層があり、あとは象牙質でありますから、噛む時の磨滅は比較的硬い琺瑯質を残して象牙質は著しく

減りますから、齒は丁度楔の樣にとがつてあります。そしてこの門齒はたえず生長しますが噛むのが甚しい故磨滅して行きます。時々ある畸形ですが何かのために一枚の門齒がかけるとそれに噛み合ふ門齒は噛むために用ひられず従つて磨滅しないので長く延びてしまふのがあります。食べる時の様子は又面白いもので、後脚と尻尾とて體を支へて、前肢で器用に、丁度人間がお行儀よくお茶でも兩手で持つていただく時の様に、小さい米粒を持つて、バリバリ音をさせ乍ら食べてゐます。その時は上の門齒二枚がよく見えます。このねずみの尻尾は可成な役に立つもので、前肢で物を食べてゐる時に後脚をたすけるのみならず、色々な場

合に脚の補助として體を支へてゐます。尾には四本の腱が通じてゐて尾骨と連絡して運動をたすけます。時によるとピンと垂直に立てて歩いてゐる時もありますし、ひきつてゐる時もあります。指で尾へ觸れますと、觸れた方向へ曲つて卷きつきます。これは尾が他の物體にあまり離れて出てゐると捕へられたり等するのを防ぎます。よく家にあるくまねずみ、しちらうねずみ等では尾で細い堀の内のバタ等をとつてなめるさうですがはつかねずみではそれ程でもありません。これも種類によつて長短があります。肢ですが、この肛の裏には皺があつて凸凹してゐます。これは壁等に攀る時に吸盤の役に立つもので、直立したすべつこい壁を上れるのはこれのためです。又後脚は前肢に比較して長大であることは兎に似てあります。後脚は跳ぶのに用ひ前肢は多くは捕食に用ひます。兎は跳ねるので有名ですが、はつかねずみもよく跳

ねます、小さい小供ですと一層ひどくて、物に怖れた時等は、高さにして三四尺、幅も一間位飛ぶ事もあります。そのために脚を挫いたり腰の骨を曲げたりする事はめづらしくありません。後脚は歩行の時に主な役目をしまして前肢はただちよつと用ひるにすぎません、後脚だけでカンガルウの様に歩かせる事も特別に仕込めば出来るさうです。眼は極端な近眼で水晶體は殆んど球に近い程ふくれ上つて居ます。したがつて極めて近い物しか感じられません。しかしそれを補ふのに鬚と耳と鼻とがあります。大體齧齒類の動物は性質が憶病でして、逃げる器官と知覺の器官とは特に發達してあります。眼のその様に近眼なもの、もとものとねずみは暗黒な所を好んで隠れてゐるものであつたのでさ程遠くを視る必要もなかつたわけです。暗い陽の當らない場所では物の臭も發散せず、に永く留まつてますから、鼻の發達してゐるのは

都合がよいわけです。長く飼つてありますと餌をやる人の匂ひを嗅ぎ分けて、箱の前に立ちますと皆一齊に出て來ます。それは目に見えるからではなく、人の匂ひを知つてであります。又觸覺の方では立派な鬚を持つてゐます、繪にねずみを畫く時鬚を忘れる人はありません様に見事についてゐて、たえずそれをビクビク動かしてあります。耳のいい事も兎にあとらないでせう。

以上體についてお話し致しましたが、これを實際に觀察なさるのもたやすい事であります。今まではつかねずみの飼養に關してはその特異の臭氣で評判が悪かつた様ですが、これも飼ふ方の面倒の見方一つで臭くなく飼へます。一體この臭氣はつかねずみの尿から發するもので掃除さへ丁寧にしてやれば、さ程激しいものでもありません。

飼ふ箱は何んでも手頃なもので結構ですが、唯注意しなければならぬ事は、ねずみの齒の力の豫

想外に強い事であります。ですから木の箱でも節穴だとかすき間のない様に造らねばなりません。すき間のないものは齒の立て様がありませんが、

少しでも隙いてるとこへ齒を入れて噛み出します。みかん箱の横を外して金網を打ちつけたのは上等です。高さは四五寸あれば充分ですが、面白く運動させるには、みかん箱位の方が自由で結構です。金網は二分目位以下でないと逃げます。子供のよろこぶのは車を廻させる事です、これは經四五寸位の水車様の車で横から出入する様にしておきます。梯子をつけて昇れる様な高い所へ置けば猶更面白いてせう。巢は箱の片隅のなるべく暗い所に置いてやつて、わらを切つて三四寸の長さにしたのを入れてやります。堅さうなわらの心でも噛んで綿の様に柔かくして丸く上手に巢をつくります。口でほごして柔かくしたわらを口でくわへて持つて行き前肢であしつけます。その恰好

は又仲々巧妙なものです。綿でも結構ですが、時々取換へてやる事を忘れると臭くなりします。わらでも時々取換へる事は必要です。餌は何でもお臺所から出る野菜の切れ端で結構ですが、小米を主食とし菜大根の類を副へてやるのを喜びます。水は外にやりませんから、野菜で水分をとります。

野菜をやる事を忘れてはなりません。日々の分量は體が小さいので極くわづかて有ります。一疋一ヶ月の食量は小米にして約五勺位です。それに日々野菜を加へます。毎日餌をやる事を忘れてはなりません、都合によれば、古くなつたバンの一片でも又さつまいも一個でも入れてゐて二三日もたせる事も出来る便利なものです。飼養の經費などは計算も出来ぬ程僅少です。

はつかねずみの中でも色々な種類がありまして、南京種、英國種、佛國種それにこまねずみといふのがあります。そして各種に色々の毛色のが

あります。綺麗なのは白子種で赤目で毛色は眞白です。その他褐色の斑、黒の斑、茶色の斑、紫黒の斑等色々の斑があつて遺傳の研究に用ひられてゐます。又佛國種は全然眞黒でつやつやとして奇麗です。

愛玩用として南京種が小型で活發で面白うございます。車もよく廻します。値段は一匹十錢から十五錢二十錢位で鳥獸店で求められます。

普通にははつかねずみは子供が殖えて始末に困ると云はれてゐますが、實際よく産みます。一腹に四五匹から多い時は十四匹、それで一匹の雌で四五回は一年に産みます。所謂ねずみ算で殖えますが又死ぬ方も多いですから左程心配はいりません。壽命は長くて二年位、ですが、色々の事で早く死ぬのが多いです、産後に死ぬのもありますし、風邪でやられるのもあります。一體ははつかねずみは人間に飼はれてゐるものですし、又祖先の野生

の鼠も人家に住んでゐますから、暑さ寒さは人間と同様に感じます。夏はダラリとして寝そべつてゐます。冬になると巢へもぐり込んで澤山かたまつてお互にあたため合つてあります。こんな動物でも協同して社會的な生活をしてゐるのは面白い事であります。一匹が傷を負ふと皆でなめて癒してやつてゐますし、病氣にでもなると皆であたためてやつてゐます。

簡單にお話は終りましたが、何にしてもこの様な高等動物でこの様に小さくて人に馴れて、飼ひやすいものは他に求められないものと思はれます。その興味多い生活状態を観察する事は、それを我々人間の生活に比較して見られるといふ意味に於て面白く又有益な事と思はれます。(終)

川の邊の水菜に

春の水鶏かな

乙二

柳暮れて

人船に來る

離愁かな

はこべらに

嘴青く

小鳥かな

みどり女

ゴツタードの木型板作業の時間的分析

神戸幼稚園保母

福家久榮
樋口重乃

一、問題

本研究は十個の形に切り抜きたるゴツタードの木型板作業の時間的分析にして幼児の形状の知覚、手先の器用、單純なる運動等の時間的研究である。

二、研究の動機

從來多數の兒童にテストを施した際他の多くの問題に對しては頑強に口を緘して答へざりし子供も此木型板のみは喜んで爲したる經驗に鑑み形状の知覺比較に加ふるに手指の運動が極めて大なる部分を占めて居るこの作業を時間的に分析しやうとしたのである。

此木型板は從來運動の検査に用ひられたものでなく、形状の知覺比

三、方法

(イ) ゴツタードの木型板

較の如き知的能力の検査に用ひられたものであつて、ホキッブルもステルンも知覺及表象のテストの中に分類して居り、ゴツタード自身も知能の検査として用ひてゐる。ピントナーとペーターソンは作業検査尺度の中に採用し久保博士は全體の大さと形状の配列を少しく變更してそのビネー式検査法の改訂法中に採用されてゐる。皆所要總時間と誤數とによつて知能の程度を測定せんとしたものである。

箱の大きさ 縦三五・五センチ 横四八・五センチ

厚サ 二センチ

形 箱の中に装置せられた形は

- 一、十字形 二、三角形 三、半圓形
- 四、圓形 五、長方形 六、龜甲形
- 七、菱形 八、星形 九、隋圓形
- 一〇、正方形

右の木型板の中の形を取り出し左の順序に並べ之を原形に箆め入れさす

- 一、長方形 二、星形 三、半圓形
- 四、十字形 五、菱形 六、隋圓形
- 七、龜甲形 八、三角形 九、圓形
- 一〇、正方形

しかして箆め入れる一個毎の動作を三つに分つて觀察記録し十個を全く箆め入れて後同じ作業を猶二回繰り返す

第一動作

所定の位置に置かれたる木型に手を觸れてより之を相當する孔の上に持ち來り箆め始

めるまで

(持ち運ぶ運動と共に形狀の知覺比較等の知的過程に要する時間を含む)

第二動作

孔に箆め始めてより箆め終るまで

(第一動作の如き知的要素はなく手際よく箆める運動の精確が主要なる要素である)

第三動作

一つの木型を入れ終り、所定の順序にある次の木型をとるまで

(四) 實驗者及被驗者

實驗は神戸幼稚園保姆福家久榮、樋口重乃の兩名が關西學院教授今田惠先生の御指導をうけて行つた。被驗者は神戸幼稚園幼兒男四十七名、女四十名、計八十七名にして年齢は四年十ヶ月より六年十ヶ月に至る。

(ハ) 時 日 大正十四年十一月より同十五年三月に至る間に於て晴天を撰んだ。

(二) 場所 關西學院の靜かな一室を作業

室とし室の一隅に電鍵を置き續く一室を時間記録裝置室として電線を以て連絡し煤煙紙を貼れるカイモグラフを用ひてジャツクのクロノスコープを用ひて時間を記録した。猶參考として秒時計を用ひた。

(幼兒控室は別に之を設けた)

(ホ) 實驗 幼兒を机の前に坐せしめ木型板を其の前に置き木型を抜き置きて説明をなし前記の如く番號順に倣めさす。其の間第一、第二、第三の動作毎に實驗者は電鍵に手を觸れると隣室の記録器により煤煙紙にギザ／＼が表はれる。表はれた煤煙紙を調べて動作の時間を測定した。

四、結 果

(イ) 所要時間の比較 全幼兒中最も長き時間を要したのは第一回の六十一秒にて最も動作の早いのは第三回の二十秒六であつた。各兒童の三回を平均した時間は

(ロ) 男女の比較 最長 五十三秒 最短 二十五秒

	第一回	第二回	第三回	平均
男	38.39 ^秒	33.23	31.08	34.24
女	42.60	35.29	33.50	37.13
差	4.21	2.06	2.42	2.89

上表の如く此動作に於ける所要時間は女兒の方男兒よりも劣り長き時間を要した

(ハ) 年齢の比較

ホキツブルの標準	今回の被験兒
六歳 二七・五秒	六歳 四十一人
五歳 二九・五秒	五歳 四十一人
四歳 三一・二秒	四歳 三十一人

ホキツブルの調査は三回の作業中最短を集めて平均せしにより今回も之に準

ず。今回調査中四歳五人は比較するを得ず。

備考

今回の被験児童において六歳児童が五歳児童より所要時間が多くなつてゐるのは六歳児童としては動作があまり簡単であるために強き興味を起さなかつたのであらうと實驗中に感じた。

五、三種作業の時間的分析

	男平均	女平均	全體平均
第一動作所要時間	14.94 ^秒	15.43	15.17
第二動作所要時間	11.30	13.19	12.17
第三動作所要時間	8.00	8.51	8.24
一作業の平均所要時間	34.24	37.13	35.58

六、形狀別所要時間

長方形、正方形は最も容易にして時間短く、星形、半圓形、十字形、菱形、正三角形はむつかしくして長時間を要し圓形、龜甲形、小判形は其間に位す。

七、練習効果

(イ)三回の練習に依り進歩せし者

計 八十四名

内 譯

A 順次時間の短縮進歩せし者 四十六名

B 第二回は時間短縮し第三回は

第二回より延長せるも第一回

より進歩せし者 二十七名

C 第三回は第一回より短縮せる

も第二回は第一回より延長せ

しもの 十一名

(ロ)進歩せざりし者 計 四人

A 第二回は短縮せるも第三回が

第一回よりわづかに延長せし

者 三 人

B 順次延長せし者（本園知能検査では優秀児）

一 人

（ハ）反復による時間短縮の量を全作業から見れば

第一回作業より第二回作業が進

歩せし量

六・〇七秒

第二回作業より第三回作業が進

歩せし量

二・〇七秒

故に第三回は第一回より八・一

四秒を短縮せり

一回の経験によつて大なる進歩をなし其の

後の進歩が之に比して少いのは之も作業の

比較的單純なためであらう。

八、作業の遅速と三種動作の關係

全幼兒を十團に分ち之を早いものから遅いものに順々に並べて全作業遅速の曲線をつくる
と其形は同じ方法に依て作つた第一動作の遅速の曲線と殆んど其形が酷似して居る第三動

作はやゝ似て居り第二動作は餘り似て居ない
換言すれば形狀の判別及單純な運動の速いもの
が此作業には速い様である、正確に手際よく
締めこむと云ふ器用さは全作業の遅速とは
必しも關係しない様である。

九、此研究によつて私共が幼兒教育の爲に参考に なつたことは

1. 此實驗がもしろく子供が遊びだと思つて
したことである。
2. 個性調査と比較して知能優秀である子供が
却て長き時間を要したといふことはやがて
子供の教育（遊びを本體としての）がやさし
すぎても却て注意をしなくなるといふこと
を明かにすることが出来たと思ふ。
3. 女兒が男兒に劣つてゐることは常に色々の
點で思はれてゐるが本調査にも亦表はれて
ゐるこれは幼兒教育者が特に考ふべきこと
ではないだらうか。
4. 外國のと比較して劣つてゐる様に見えるが
これは同じ條件のもとにしたのでないかも
知れないから心配することはないと思ふ。

以 上



私の幼稚園

——かるたの巻——

園長と時雄、いろは四十八文字を頭とした文句を考へる。數回に亘て兩人智慧を絞る。次に四十八枚の札の製作に取かゝる。文字は全部園長、繪は考案と輪廓とを園長、彩色を時雄、これを數回に及ぶ。最後に有合せのボール箱に美しい千代紙を張つて仕上げる。所用日數約一箇月。兩人かるた會を大いに催さうと意義込んでゐる。先づ兩人で取つて見る。

い、一富士、二鷹、三茄子び。

ろ、驢馬は可愛いら。

は、花に蝶々。

に、ニコ／＼爺さん。

水島さゆり

ほ、乾物ほして忘れる。

へ、兵隊さん、タツタカタ、

と、とろ／＼に麥飯。

ち、ちいさい提灯、大きい提灯。

り、利口なお猿。

ぬ、ぬけがけの功名。

る、留守番はボチ。

を、桶屋に竹屋。

わ、わたりに船。

か、亀さん兎に勝ちました。

よ、夜店の植木

た、たらひのお舟、ギツチラコ。

れ、れんげ、たんぼ／＼花盛り。

そ、そろばんバチ／＼、番頭さん。

つ、鶴の一聲。

ね、ねんねんよう、あころりよ。

な、なんなら茶漬。

ら、ラヂヲJ O A K。

む、むかう三軒、兩隣。

う、兎のお目々は赤い。

ゐ、猪捕つたニタンの二郎。

の、のんきな父さん。

お、沖の白帆。

く、くり／＼坊主。

や、山から小僧が飛んで來た。

ま、松蟲チンチロリン。

け、けん／＼小雉。

ふ、袋から饅頭。

こ、こんにやくのお化。

え、閻魔様の顔。

て、てん／＼もみぢ、手の無いもみぢ。

あ、淺蜷、蛤、帆立貝。

さ、猿蟹合戦。

き、狐の嫁入。

ゆ、弓の上手な那須の與一。

め、旨は可哀さう。

み、み／＼づくの眼玉。

し、しりきれ蜻蛉。

え、笑顔、いゝ顔。

ひ、飛行機萬歳。

も、餅つきベッタラ。

せ、線香花火。

す、雀のお宿は藪の中。



童謡遊戲について

戸 倉 ハ ル

前數號にわたつて、童謡遊戲についていろいろ述べさせていただきました。こんどは實際指導に當つて、これをどう取扱つかつたら、興味もあり、價值も多からうかという／＼考へなければならぬことを申し上げて見たいと思ひます。

本科指導上の注意としては、先ごろ文部省から發布された學校體操教授項目の解説書に明かに次のやうに示されてをりますから、どなたも御承知のことゝ存じますが、どこまでも子供の心境に合ったものを、合つたやうに取扱はなければならぬと存じます。

唱歌遊戲は、生徒、兒童の自然の活動性に適應して、唱歌に伴なふ表現的動作に依り、全身の

發育と健康とを助長し、快活な精神を養ふのを要旨とする。それ故に、教授するに當つては、兒童の自然性を尊重して、自然的に行はせるやうに注意し、技術の末に拘泥して、その活動を制限しないやうに心懸けなければならぬ。」と然るに最近其の内容を見るにあまりに形式的に流れておはしまいか、また、あまりに客觀的ではあるまいかなど、考へさせられます。大人の主觀からわり出された表現や、劃一的の指導は大に考へなければならぬと思はれます。

左に一例を示して御參考に供します。題材として取りました「紅緒のボックリ」は拙著唱歌遊戲に御座いますから、同書を御參考下されば幸と存

じます。

紅緒のボツクリ

中村雨紅 作歌

井上武士 作曲

戸倉ハル 振

一、歌

紅緒のボツクリ、よいかつこ

歩けばチンリン、鈴が鳴る。

駄ければボツクリ、音がする。

チンリン、ボツクリ、うれしいな。

紅緒のボツクリ、チンコロロ。

履いたらお客に、いきませうか。

チンリンコロロといきませうか。

紅緒のボツクリ、うれしいな。

二、準備

一列圓形の両手間隔に竝べ、一、二の番號をつける。

三、振

前奏十六呼間

互に手を繋ぎ、左足を側に出し、右足を軽く蹴り上げる。次に右足を側に出し、左足を軽く蹴り上げる。かくして、左右交互に同じ動作を繰り返す。

紅緒のボツクリ、よいかつこ。

紅緒のボツクリ、

體前で軽く拍手し、右手を前上に、左手を後下に伸ばし後に上げ、嬉しさうに紅緒のボツクリを見る。次に左手を前上に、右手を後下に伸ばして、前の動作を繰り返す、

よいかつこ。

體前で拍手しながら、其の場で軽く足踏する。

歩けばチンリン鈴が鳴る。

歩けば、

兩手を腰に取り、左足を前に踏み出し、右足

の踵を上げる。

チンリン

右足を前に踏み出し、前と同じ動作をする。

鈴が鳴る。

兩手を腰に取つたまゝ、右足から二歩後退する。

駈ければポツクリ、音がする。

駈ければ

兩手を腰に取つたまゝ、左足をボンと踏む。

ポツクリ

右足で前と同じ動作をする。

音がする。

兩手を腰に取り、兩足で二回上方に跳び上る。

チンリンポツクリ、うれしいな。

チンリン

兩手を腰に取つたまゝ、左足でボンと軽く踏む。

ポツクリうれしいな。

體前で拍手しながら、其の場で右へ一廻りする。

後奏十六呼間

前奏十六呼間の動作に同じ。

紅緒のポツクリ、チンコロロ。

紅緒のポツクリ、

前の「紅緒のポツクリ」に同じ。

チンコロロ

體前で拍手しながら、一、二番生互に向き合ふ。

履いたらお客様に、いきませうか。

互に左を通つて、前の「歩けばチンリン鈴が鳴る」の動作をする。

チンリンコロロと、いきませうか。

一、二番生連手して、右へ一廻りする。

紅緒のポツクリ、うれしいな。

紅緒の

左足でボンと軽く踏み。

ポックリうれしいな。

體前で拍手しながら、其の場で右へ一廻りする。

後奏十六呼間

二呼間

(イ) 一、二番生互に手を繋ぎ、左足を斜前に出す。

(ロ) 左足を右足につける。

二呼間

水雞步で二步前進する

四呼間

右足で前の四呼間の動作を繰り返す。

八呼間

前の八呼間の動作を再び繰り返す。

幼稚園後期尋一、二第三學期自至第一、三週

指導案

題材、紅緒のポックリ

目的、童謡遊戲「紅緒のポックリ」を授け、お正月の氣分を歌ひ出した豊かな感情を一層

培養陶冶せんとする。

區分、

第一時

第一歌詞

第二時

第二歌詞

第三時以後 第一、二歌詞總練習

方法

A 準備運動

一、駢足及駢足間の諸動作。(密集隊形)

二、行進。(行進曲に合して) 一列圓形

三、臂の廻旋。臂側下伸

四、歩法練習。

五、唱歌練習。

第一歌詞復習。

第二歌詞復習。

批正指導。(各小節毎に)

B 主運動

一、歌詞の内容説明

- (1) 問答に依つて内容吟味
- (2) 表現的情緒を誘導して内容の高潮につとむ。

二、模倣形式に依つて動作指導

第一歌詞

(1) 教師示範

- (イ) 兒童は手拍子にて第一歌詞を歌ふ。
- (ロ) 教師は諸模範を示して、兒童の表現的情緒を喚起せしむ。

(2) 要點指導

- (イ) 各自の感想を發表せしめて指導
- (ロ) 着想と動作の觀察を指導
- (3) 一小節宛模倣形式にて指導
- (4) 練習指導

三、共學的指導

第二歌詞

- (1) 歌詞の内容考察と共に共學的方案を立てて一小節宛動作を構成す。

(2) 兒童の動作觀察

半數若しくは、四分の一位宛動作と唱歌とを交互に行ひ、互に觀察せしめて相互批評す。

(3) 共同練習、批評指導

四、鑑賞眼の養成指導

教師示範

- (イ) 第一、二節の動作示範
- (ロ) 各兒童手拍子をしながら合唱
- (ハ) 自己反省を促して指導材料になす。

五、總練習

一列圓形にて實演

- (イ) 個人的指導
- (ロ) 部分的指導
- (ハ) 總體的指導

C 整理運動

一、行進(行進曲に合して)

二、舉踵(手腰直立)

三、臂側舉(直立)

童話 五色の羽根

五二

久門 嘉祐

とよ子さんは、それはくくく子です、ほんとうにいい子ですよ、毎朝お時計がチンくくくチンくくと六つなるとお眼々をさまします、お眼をさますとお時計がなります、いつでもお時計と競争ですよ、そしてお眼々をさますともうお床の中でぐずぐずはしてゐませんよ、元氣よくつツと跳ね起き、すぐに自分で畫のお洋服と着換へ可愛いあふとんをちやんと疊んで押入に仕舞ひます、それから齒を叮嚀にみがきお顔を洗ひます、それからお米を一つまみつまんでお座敷のお縁に出てお庭に其のお米をまきます、それは年がら年中毎朝くこれだけのことは、もうきまつてするのです、すると方々からチンくくく雀がやつて來て

其のお米をいたゞいて喜んで遊んで歸るのであります、初は二三羽でしたが段々にふえて五羽に十羽になり十五羽になり二十羽になり段々に多くなりました、そしてもうとよ子さんにはよく馴れて、とよ子さんがお庭へ下りて行つても雀はちつともこわがりません一羽も逃げるものはありません、逃げるどころかとよ子さんの側にチンくくく喜んでたかつて來てとよ子さんのお手々にとまるものもあります、と、或日一羽の子雀の鈴ちゃんがお嬢さんく今日は鬼ごつこをして下さいねお嬢さん。ね、お嬢さんとおねだりをしました、すると皆で鬼ごつこしませうく、ジャンケンポイヤくくと大はしやぎにはしやぎ出しました、

とよ子さんがまけてしまひました……あら私鬼よ一つさんばらりて残鬼、と兩手を廣げ追ひ出した、雀は皆夢中になつてバツと逃げます「チュンチュク雀の鬼ごつこ……枝から枝へチュンチュクチュン一さんばらりて残鬼、チュンチュク……鬼ごつこ」と歌をうたひながらもう面白くく鬼ごつこをして居りました、すると子雀の鈴ちゃん石につまづいて轉んであんよを痛くして泣き出しました、とよさんは吃驚して鈴ちゃんの側に駆けよつて、まあ鈴ちゃんわるかつたわねと抱き起し、土をはらつてあげ、よく見てあげると足をすりむいて少し血が出てゐました、よし／＼大丈夫よ私お薬をつけてあげてよ、今晚は私のお家へお泊りしませうねと抱いてあげました、そして他の雀は皆もう鬼ごつこをやめて鈴ちゃん側の側によつて來て心配さうな顔をして居ります——とよさんは皆さん大丈

夫よ鈴ちゃんは今晚はお泊りをしてお薬をつけてあげますからすぐ癒つてよ、あしたの朝お迎に來て頂戴ね——では皆さんさうならと言ひますと雀達はさも安心したやうにチュンチュン飛んで行つてしまひました……とよ子さんは子雀の鈴ちゃんをお手々の上へ大事に乗せてお家へ歸り綺麗なお籠に入れおいしい水やお米をやりお薬をつけてそつと寝かしました……そしてあしたの朝はいつもより早く起きて子雀の鈴ちゃんの側へ行つて見ますと……鈴子さんはもう痛いところも癒つてお籠を出たり入つたりして元氣よく遊んでゐました……鈴子さんもう癒つてよかつたね——もう皆さんが屹度お迎に來てゐますよ、さあお庭へ行きませうと雨戸を開けて上げました……すると子雀の鈴子さんは喜んでお庭へ飛んで行きました……皆の雀はもう朝早くからお庭へ來て待つて居りました、そこへ鈴子さんが元氣よく出て行つたもので

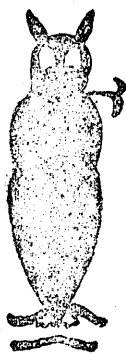
すから、皆喜びました、そして今日もお米をいただいて面白さうに庭を飛びまわつて遊びました……そしてさようならをして皆々飛んで行つてしまひました……とよ子さんは昨日怪我をした鈴子さんも皆と一しよに元氣よく飛んで行くのを喜んで少時見て居りました……そしてもう雀の姿が見えなくなつたとき其の雀の飛んで行つた方から赤い綺麗な羽根がクル／＼廻りながらとよ子さんの方へ飛んで來ます、とよ子さんは、あら綺麗な羽根が、と見て居りますと又つゝ青い羽根が……アラ今度は青い羽根……アラ今度は黄色の羽根……アラ今度は紫今度は緑と五色の羽根がクル／＼廻はつてとよ子さんの方へ飛んで來るのてありました。

とよ子さんはアラ綺麗／＼と夢中になつておつと見て居りました、すると一番先の赤い羽根がとよ子さんのお手々の上へポットンと落ちま

した次は青い羽根がポットン、次は黄色の羽根が次は紫の羽根が次は緑の羽根がポットン／＼とあ手の上へ五色の羽根がそろひました……とよ子さんはもう嬉しくて／＼たまりません。早速それだ五色の羽根をこしらへ羽子板を頂くとすぐにお庭へ出て一イヤ二イヤ三イヤ四イヤ五イヤ六イヤ八一九ヤ十……と突いて見ました、する五色の羽根がクル／＼廻はつてそれは／＼綺麗に／＼よくあがります——ところが一番おしまひに突いたのがクル／＼廻はつて雲の上までまだ／＼ずん／＼上へあがつてそれからだん／＼向ふの山の方へ飛んで行きます……とよ子さんは吃驚して其のまゝ羽根のあとを追うて行きました……山を越え、も一つ山を越えて向ふの大きな／＼お城のお庭へクル／＼まわりながら五色の羽根は落ちました……すると御殿のお姫様がそれを御覧になり、けらいに言ひつけて拾つて來させて、突いて御覧

になりました……けれども羽根は少しも上りません。お女中がついてもばあやがついても誰がついても少しも上りません……お姫さまはワン／＼泣き出しました……どんなに御機嫌をとつても泣き止めませんから皆で大層心配をして居るところへ……とよ子さんが御門番に頼んでお城のお庭へ羽根を拾ひに参りました……すると大勢の女中がとよ子さんの側にかげよりあの羽根はあなたのですか……今お姫様があの羽根が大層お氣に入り、早速ついて御覧になりましたが、少しも上りません……それから私たちが代る／＼ついて見ましたが矢つ張り少しも上りません……それでお姫様とうとうお泣になり、色々とよつてたかつて御機嫌を取りますが矢つ張りあれあのやうに泣いてゐらしやるのです……どうぞあなた急いでついてお見せして下さいませと皆して頭を下げて頼みます……とよ子さんは早速五色の羽根をいたゞいて一

ヤ二一三ーヤ四とつきました、クル／＼／＼まわつてそれは／＼綺麗に上ります。それをお姫様が御覧になると今迄もう破れるやうに泣いてゐらしたお姫様はちやつくり泣き止めてニコ／＼顔になりお手々をたゞいてお喜びになりました……それからお姫様が代つておつきになりました……今度はとよ子さんがつくのと同じによく上りました。そこでとよ子さんは其の羽根をお姫様に差上げてお暇をしました……とよ子さんは山のやうに御褒美を頂き立派な立派なお馬車でお家へ戻りましたとさ。おしまひ



ごもん

鶴原しげ歌
梁田貞曲

1. い そ い で く れ ば み え た み え た

2. 3. 4.

5. 6. 7. 8. ご も ん が み え た う れ し や う れ し や

9. 10. 11. 12. ご も ん の な か に あ れ あ れ み え る

13. 14. 15. 16. せ ん せ い が み え る う れ し や う れ し や

急いで 来れば
みえた みえた
ご門が 見えた
うれしや うれしや
ご門の中に
あれ／見える
先生が みえる
うれしや うれしや

ごもん

昭和二年
十二月九日
作

土川五郎作

一、いそいでくれば……圓形右向をなし駄足七歩

みえた……左へ三步前方を見る

みえた……右へ三步前方を見る

ごもんが……左足一步前に上體を左に傾け兩脇

曲げ前膊を兩側に立て掌を向き合せ前方を見る

みえた……右足一步前に上體を右に傾け兩手を

前の如くあげて前方を見る

うれしや……内方を向き體前にて拍手一回右足

一步右へ上體を右に傾け兩手を左右に開き頭を右に傾く

うれしや……拍手一回上體を左に傾け頭を左に

傾け兩手を開く

ごもんの……全生連手した内方に進む

なかに……後退す

○豫め五人乃至三人を一組とし其内先生となるべきもの一人を定め「なかに」て後退する時先生となりたるものは足踏しつゝ背面を向く即ち他の四人と相對する

あれ／＼みえる……生徒は上體をやゝ前に屈し右食指にて對したる先生を二回次にこまかく

三回指す。先生は右手にて招く

せんせいが……兩方ともに禮をなす

みえる……生徒は前進し先生は後退す

うれしや……兩方共に始めに左側下方にて次に
右下方にて拍手す

うれしや……生徒は兩手を前に先生を抱く如く
して前進す

二、歌なくしてリズムによつて

1 2 ……五人づゝ輪になり連手のまゝ左へ行進
す

3 4 ……右へ三步づゝ二回行進す

5 6 ……圓心の方へ行進して後退す

7 ……左側にて拍手一回次に右側にて一回拍手
す

8 ……足踏三回

9 10 ……再び1より8迄を繰返す

第一歌の終りたる時15 16 小節を間奏として其間
に五人又は三人が丸く輪を作る而して第二に
移る

第二終りて又15 16の間奏にて全體一つの輪に歸
る

戸を繰れば

はや子を負うて

冬の朝

再

春淺き鹽の

かげんや

木の芽漬

木志

灰色の父

菅原 敏 造

若き父と云ふ名前で、ちよい／＼つまらない事

を書いたのは、この雑誌がまだ「婦人とこども」と

云つてゐた時、かれこれ十七八年も前のこととし

たが、その時の若い父も、今では胡麻鹽頭の親爺

になつてしまひました。昨年の春で四番目の末子

の幼稚園生活も終りましたが、久しぶりで灰色の

父と云ふのを、少し替かせて頂きましやうか。

若き父の胸に觸れたあの時代の幼稚園の空氣に

は、聖母のやうな安井先生と、教母のやうな池田

先生の姿が、二つの明星のやうに靜かに輝いて居

りました。法も識らず掟も思はずただ動き行く己

の姿を眺める——と云ふやうなことを粗雑にやつ

てゐたあの頃の私にも、この二人の幼稚園の先生
には、思はず頭が下がりました。

□

はじめて子供をもつた翌年のある暑中休暇の日
に、子供とくらしした數日の生活を、その子供の名
づけ親の倉橋君へ手紙にして出したことがあります
した。その時「婦人とこども」の編輯をしてゐた倉
橋君の記者心理から、思ひがけず、その手紙がこ
の雑誌の前身に載ることに成つたのです。若き父
と云ふ名の名づけ親もやはり倉橋君でした。これ
が皮切りで、すつかり若き父になりました、つい
好い氣になつて、四五度ばかりつまらないことを
書いて見たのです。

一體、後を顧みる趣味を割合に持ち合せない私
が、柄にもない十七八年前のことを繰り返すやう
になつたのには譯があります。幼稚園のいろ／＼
なものが大震災災で無くなつたので、この雑誌も
初號からちやんととり揃へてあつたのを、神田先
生が幼稚園に寄贈して下さいました。それを今の
幼稚園の若い先生方が、面白半分にくり返して見
て、「やあこんな事が書いてある、また何か書いて
もらはう……」と、これです。

□

十七八年前の本誌で御馴染みになつたその子供
が、運よく六歳の春に幼稚園に入りました。これ
がなか／＼氣むづかしい・育てにくい・面倒な子で
先づ入園の日に式場で大聲をあげて泣き出して主
事の安井先生を驚かしたのを手始めに、絶えず池
田先生の手あつて御世話や倉橋君の後見を頂いて
居りました。

その後の三人の子供は、皆すら／＼と樂に行く
のに、どうしてこの最初の子供があんなに育てに
くかつたのか、死んだ子の齡を數へると今で二十
歳にもなるのですが、母親は時々それを思つて、
今でも涙を拭ふことがあります。何と云つても兩
親が若かつたものですから、親らしくもなく、子
供を向ふに廻はして、むきになつて掛つたのもあ
るでせうが、昔の流義に従へば輪廻とか血とか云
ふことかも知れませんが、自己流の言葉で云へば、
等質から異質を分化して置きながら、しかもその
異質を認めたくない悲劇の豫感とても云ふのでせ
うか。

しかも、その悲劇の豫感が、兩親に深刻な惱み
を與へ切らないうちに、捨身の尊さを知らしめな
いうちに、この問題の子供は十一歳で急に死んで
しまつたのです。昔からよく掌中の珠を奪はれる
と申しますが、私達の心持から云へば、土を變じ

て黄金としようとする錬金術師の手から、突然にそのたつた一塊の大切な土を奪はれてしまつたのです。珠を奪はれた位の單純な一と筋の悲みてはありません。

□

この頃は、お茶の水の幼稚園と大塚の小學校との連絡のあつた時代でしたから、お蔭ですらくと赤ふさの三角帽をかむことが出来ました。

何でも小學校へ入つてから四日目か五日目のことでした。私がついて小學校へ送つて行く途中、電車の扉で小さい手を挿まれた時、家てこんなことがあつたら、それこそ大變な騒ぎをする所なのに、ペンをかきながらも、泣かずに堪へ通したのを見て、私は、どんなに心の中で泣かされて、どんなに心の底で強められ勵まされたことでせう。その時、そんな氣持を「心理研究」に何か書いて見ましたが、これがこの子供についての私の記事の

おしまひでした。

輪廻か、血か、異質か、土か、それとも、輪廻の克服か、血の淨化か、等質への環元か、土の光りか、要するにその歸結は、これから伸びて行く三人の子供の姿と、私共の苦行の跡で知れることとせう。



雜 錄

兒童生徒の個性尊重及職業指導 に關する訓令及通牒要旨畧說

文部省普通學務局

學校に於ける教授訓練の方法は、種々の研究も行はれ、實績も亦見るべきものがあるのであるが、然しながら時勢の進歩に對して、教育の本旨が、果して十分に徹底して居るや否やに至つては、遺憾ながら尙未だ注意すべき事の尠なからざるを見るのである。元來教育の本旨は兒童生徒の個性環境等を基礎として、常に其の在學中に適當なる教育を行ふのみならず、更に其の卒業後の進路に對しても、懇切なる指導誘掖を加へ、各其の性能境遇等に適する所に向はしむるに至つて、始めて其の目的を貫徹することが出来るのである。即ち學

校は、平素より兒童生徒の各自に就いて、其の性行、智能、學習情況、身體の情況、家庭其の他の環境等を、精密に觀察もし、調査もして、各人の敎養上重要な資料を得るのみならず、之に基いて敎授訓練の方法を適切にし、其の長所は之を益々發揮せしめ、其の短所は之を矯むるは勿論、更に卒業の後、各人をして其の性能に應じて、夫れ夫れ適處に進ましめんが爲めに、上級學校又は職業の選擇等に就いても、適當に指導を加ふるに至つて、始めて萬全の實績を收むるに至ることゝ思ふのである。學校教育が、兒童生徒に對し、一般國民として共通的に必要な素養を與ふると共に、團體的訓練の成果をも收め、同時に又個人敎育の長所をも併行せしめて、適材を適處に向はしめ、獨り當人の成業を助くるのみならず、國家産業上の能率を増進して、國運の進展に寄與する所

以は、畢竟以上の要義に歸するのである。然るに、

從來の實情に於ては、此の教育上最重要なる個性尊重の旨義が、頗る徹底を缺き、隨て教授訓練の方法も、多く形式に流れ、劃一に失し、國民の實生活に顧みて、職業に關する理解を得しめ、又職業に必要なる智能を授くるとか、勤勞を重んずるの習慣を養ふとかいふことも、動もすれば闊却せられ、特に高學年に進むに従つて、上級學校の入學試験準備に没頭し、之が爲に、或は心身の發達を害し、元氣を銷磨せんとするの憂ふべき弊害を助長しつゝあることは、爭ふべからざる事實である、又卒業後の進路に關しても、指導が行はれざる爲めに、漫然上級の學校に入學するも、中途にして學業を廢し、或は職業に従事するも、其の種類が其の性能資質に適せずして、失職轉業等の機會を多からしむる如き、是亦憂ふべき事象を惹起しつゝあるのである。

今回文部省が、試験制度に關する省令の改正及

訓令の發布等と同時に、兒童生徒の個性尊重及職業指導に關する訓令及通牒を發したのは、畢竟以上の見地に基いて、從來の型に捕はれたる教授訓練の諸弊を矯正し、教育本來の目的を貫徹せんことを期するの旨趣に出てたのであつて、試験方法の改善案と共に、教育の内容刷新上、頗る重要な意義を有するのである。近時一般に高唱せらるゝ教育の劃一の打破、實際化の實顯も、畢竟するに、此の訓令の旨趣の達成に由つて始めて期待せらるることと思ふのである。

茲に特に留意を請ひたいのは、職業指導のことである、申す迄もなく、職業指導は、兒童生徒に對し、其の學校在學中、個性環境等に基いて、職業に必要なる素養を與へ、愈々學校卒業の際に於ては、將來執るべき職業の選擇又は進むべき上級學校の選擇等に就き、各人の資質に應じて、適當なる指導を加へ、尙其の就職後の輔導等を意味す

るのであるから、其の要旨は、全く教育の本旨に包含せらるべきものであつて、假令職業の選擇に對する指導に伴ふて、職業紹介所の事務と密接なる聯絡を要する場合ありとするも、其の根本要義は、決して勞務の需給關係に胚胎するものでないのであるから、教育の本旨を達成するに於ては、所謂職業指導の目的も、自ら貫徹せらるゝのである。此の點は特に深く教育當事者等の留意を要することと思ふ。

訓令の旨趣達成に必要な注意事項中、著しきものは、通牒に列舉せられて居るのであるが、第一に緊要なることは、兒童生徒の個性環境等を觀察調査する方法、及其の結果を、精細に記入すべき様式等を、如何にすべきかに就ての工夫研究のことである。此の事は、平素の教養上及卒業後の進路に對する指導誘掖上、最重要なる根柢を爲すものたることは更に言を要せぬのであるが、此等

の外、今回の試験方法改善の結果、當該學校長が、上級學校入學者の資質等を、上級學校長に具申する場合に於ても、重要な資料となるのであるから、學校當事者は、此の點にも注意して、十分に協議研究し、觀察調査上の規準となるべき諸點、及その結果を、表簿等に記入すべき様式を定むるの必要があると思ふ。

次ぎに注意を要することは、學校と職業紹介所との聯絡を密接にすることである。職業指導の事は、前述の通り、教育の本旨に合致するのであるが、然しながら、學校が其の目的を達成するに就ては、國民生活の大部分を占めて居る所の職業に關する實情を熟知し、又各職業群が夫れ／＼青少年の資質に對して、如何なる性能等を要求しつゝあるかを熟知し置くの必要があるのであるが、是等は主として職業紹介所に於て調査研究しつゝあるのであるから、此の點に於て、既に學校と紹

介所との聯絡を要するのである。特に各人の職業の選擇は、眞に其の就職と關聯し、而かも此の就職のことも主として、職業紹介所に於て取扱ふのであるから、兩者の關係を密接ならしめざるべからざることは是又、更に言を俟たぬと思ふのである。又今回の訓令は、上述の通り、學校に於ける教授訓練の刷新を意味するのであるから、師範學校、實業補習學校、教員養成所等に於て、教育學科、實業科等を教授する際は勿論、其の他の課程の取扱及生徒訓練の際に於て、十分に訓令の旨趣に留意し、生徒が卒業後、實際教育の任に當る場合に於て、克く訓令の目的を貫徹せしめんことを期せなければならぬ。特に附屬小學校に於ては、訓令通牒等に明示せられたる事項を、模範的に實施して、地方小學校等の參考に資すると共に、本校生徒の教育實習の指導上にも、遺憾のないやう十分に意を用ひなければならぬ。尙從來の實況に

考へれば、現に學校に在職中の職員及學校醫等に對しても、例へば性能調査に必要な事項とか、個性觀察に必要な事項とか、或は所謂職業指導に關する事項とか、訓令の旨趣達成に必要な事柄に就いて、適當に講習を爲し、以てその研究實施を促すことも頗る緊要の事と思ふ。更に最注意を要することは、學校と父兄保護者等の連携を密接ならしむることである。申すまでもなく、兒童生徒の個性とか環境とかの觀察調査の如きは、何れも學校當事者のみの力を以てして、到底十分に其の目的を貫徹することの出来ないであつて、例へば、兒童生徒の日常生活に於ける性行とか、家庭其の他の境遇上の事情の如きは、父兄保護者に於て、最よく熟知し居るべき筈のものであるから、學校は是等に關する資料を得るの點に於て、父兄等と密接なる聯絡を要するのである。特に各人の上級學校への入學に就ての指導、職業選擇及就職

に就いての指導の如きは、本來父兄の爲すべき事に對して、學校は助言協力を爲すの關係にあるのであるから、一層父兄等との連携を密接ならしめなければならぬと思ふのである。又是等の本旨を徹底せしめる爲めには、從來一般に尙未だ教育の眞の意義を諒知せざるものある情況に顧みて、

先づ以て一般父兄等に對し、今回の訓令の旨趣を周知せしむるに、必要なる方法を實施するを要することゝ考へる。

以上は今回發布せられたる訓令及通牒の要旨の略説であるが、此の旨趣の達成に就ては、更に都市とか、農村とか、夫れ／＼地方の實情に應じ、又學校の事情にも考へて、適切なる細案を研究實施せられんことを希望して已まない。要するに今回の訓令は、學校教育の内容刷新に對しては勿論教育の實效を、國運の進展に適應せしむるの本旨に於て、頗る重要な意義を包含して居るのである

から、學校當事者は申すに及ばず、一般社會に於ても、深く其の主旨の存する所を諒知せられ、協力一致して、以て其の期待する所を達成せんことを切望に堪へぬのである。

文部省訓令第二十號

北海道廳 府 縣

兒童生徒ノ個性尊重及職業指導ニ關スル件

學校ニ於テ兒童生徒ノ心身ノ傾向等ニ稽ヘテ適切ナル教育ヲ行ヒ更ニ學校卒業後ノ進路ニ關シ青少年ヲシテ其ノ性能ノ適スル所ニ向ハシムルハ時勢ノ進歩ト社會ノ推移トニ照シ洵ニ喫緊ノ要務ニ屬ス隨テ學校ニ在リテハ平素ヨリ兒童生徒ノ個性ノ調査ヲ行ヒ其ノ環境ヲモ顧慮シテ實際ニ適切ナル教育ヲ施シ各人ノ長所ヲ發揮セシメ職業ノ選擇等ニ關シ懇切周到ニ指導スルコトヲ要ス是ノ如クシテ國民精神ヲ啓培スルト共ニ職業ニ關スル理解ヲ得シメ勤勞ヲ重ムズル習性ヲ養ヒ始メテ教育ノ本

旨ヲ達成スルニ至ルモノナルヲ以テ自今各學校ニ於テハ左ニ掲グル事項ニ就キ特ニ深ク意ヲ用フベシ

一 兒童生徒ノ性行、知能、趣味、特長、學習情況、身體ノ情況、家庭其ノ他ノ環境等ヲ精密ニ調査シ敎養指導上ノ重要ナル資料トナスコト

一 個性ニ基キテ其ノ長所ヲ進メ卒業後ニ於ケル職業ノ選擇又ハ上級學校ノ選擇等ニ關シテハ適當ナル指導ヲナスコト

一 學校ハ前掲ノ敎養指導等ニ關シ父兄及保護者トノ連絡提携ヲ密接ニスルコト

地方長官ハ克ク以上ノ旨趣ヲ體シ其ノ目的ノ達成ニ力メムコトヲ望ム

昭和二年十一月二十五日

文部大臣 水野鍊太郎

文部次官 栗屋 謙

各地方長官宛

兒童生徒ノ個性尊重及職業指導ニ

關スル件

本日文部省訓令第二十號ヲ以テ標記ノ件訓令相成タル處右實施ニ就キテハ特ニ左記事項御留意相成度依命此段通牒ス

記

一 兒童生徒ノ個性、環境等觀察調査ノ方法及記入ノ様式ニ關シテハ學校當事者ヲシテ特ニ研究工夫セシムルコト

一 學校當事者ヲシテ職業紹介所トノ連絡ヲ密接ナラシムルコト

一 師範學校實業補習學校敎員養成所等ニ於テ生徒敎養上訓令ノ旨趣ニ就キ留意セシムルコト

一 學校職員等ニ對シ適宜個性調査ニ關スル講習ヲ爲スコト

一 訓令ノ旨趣ハ之ヲ父兄保護者等ニ徹底セシムルコト

茨城縣保育會

茨城縣保育會第二回總會は十一月二十七、八兩日同縣土浦町土浦尋常高等小學校附屬幼稚園に於て開催。建議題（一、幼稚園國庫補助を其筋へ建議する事——笠間幼稚園提出。二、保姆に年功加俸を支給せられんことも其筋へ建議する事——太田幼稚園提出。三、縣女子師範學校へ幼稚園を附設せられんことを其筋へ建議する事——土浦幼稚園提出）研究發表。（一、私の見た幼兒の步調——土浦幼稚園猪間まさ君。二、テニストに現はれたる幼兒視覺の發達——土浦幼稚園吉川コハル君）其他、協議及研究懇談の外、實地保育の批評と倉橋東京女子高等師範學校教授の、幼稚園教育法に就てと題する講演あり、縣下公立幼稚園保姆出席盛會であつた。尙、會員相伴ひて霞浦飛行場の見学を行つた。

第三回愛媛縣保育會

昭和二年十二月二、三兩日松山市私立幼稚園に於て第三回愛媛縣保育會を開催縣下各園より出席する關係者五十名甚だ盛會裡に閉會したり、抑本縣保育會は愛媛縣吉田町私立松井幼稚園長石原淳一氏の熱心なる主唱により松井幼稚園主催の下に大正十四年十二月十二日皇子御命名式當日開かれたる愛媛縣下幼稚園聯合大會に於て満場一度設立されたるものにして爾來毎年開催され第二回は大正十五年六月四日縣立女子師範學校學校附屬幼稚園に於て開かれしなり。

愛媛縣保育會規則

第一條 本會は愛媛縣保育會と稱し事務所を縣立女子師範學校附屬幼稚園内に置く

第二條 本會は縣下公私の保育團體相互の連絡を取り保育上の研究及改善進歩を圖り兼て會員の

親睦を爲すを以て目的とす

第三條 本會の會員は縣下保育團體の在職者を以てす

第四條 本會に左の役員を置き會員中より選舉し其の任期を二ケ年とす

會長一名、副會長一名、幹事二名、評議員若干名

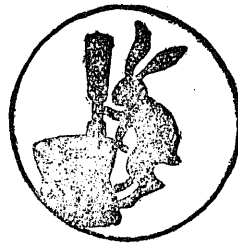
會長は會務を處理し、副會長は會長を補佐し且會長の代理を爲す、幹事は會務を分掌し、評議員は主要會議に参加するものとす

第五條 本會は毎年一回總會を開き其日時場所等は其都度會長之を定む、但し必要により臨時開會する事あるべし

第六條 本會の經費は會員の屬する保育團體の負擔とし會員年額金壹圓及特志者の寄附金を以て之に充つるものとす

第七條 本會の事業にして緊急を要する事項は其

都度役員會に於て決定するものとす



告 稟

定 規 文 注

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歡迎いたします。

一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。

一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵稅共)で願ひます。(郵稅代用の場合には總て一割増)

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきて御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の聲封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵稅は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和三年一月十日印刷
昭和三年一月十五日發行
幼兒の教育 第二十八卷第一號

不 許 複 製
禁 轉 載

編輯兼發行所
東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五
堀 七 藏

印刷者
東京市牛込區西五軒町五二番地
小長谷 勝之助

印刷所
行政學會印刷所

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南中賀町八品田奥松に御申込下さい

集話おと方仕

袋の穴と 灰色猫 よくばり猫 狐の袋
 女の子と 兎三匹ふたのお山羊の橋と子お猿と
 三匹ふた 兎三匹ふたのお山羊の橋と子お猿と
 首を上げた 兎の目玉 おくびやう兎 驚のと
 首長 兎の目玉 おくびやう兎 驚のと
 英子 頭 羊の番のわらじ 一本たお
 ふんご 白鳥の金の小羊の 畠の山羊 牝
 鼠 雀のブルーの 鼠の 鼠のシツポ 牝
 の玉子 其れ十數話 (お話の仕方)

東京高師宮川葵甥、三浦國作共著
價三・〇〇 送一八

出版目錄

謹賀新年

昨年中は特に御愛顧を忝ふし厚く御禮申上げます。殊に『キンダーブック』に就きては、甚大の御高配に預り、望外の好果を得て、第三版品切れの盛況を見ました。社員一同感佩に堪えません。本年は早々第二編『乗物の巻』が出ますから、どうか倍舊の御後援を願ひ上げます。

昭和三年一月元旦

株式會社フレーベ

東京小石川區白山下

◎お名前漏れのキンダーブック申込が十數葉ありました、御氣付の方は重ねて御申込願ひます。

